

福島県内遺跡分布調査報告 25

2018年9月

福島県教育委員会

福島県内遺跡分布調査報告25

序 文

福島県教育委員会は、大規模開発等による埋蔵文化財包蔵地への影響を避けるため、開発事業等が行われる前に詳細な分布調査を実施し、関係機関と調整・協議を行い、埋蔵文化財包蔵地の保持に努めております。平成29年度は、3市4町の区域内で計画された6事業の試掘・確認調査、及び1町1村の区域内で計画された2事業の分布調査を公益財団法人福島県文化振興財団に委託して行いました。

浜通り地方では、小名浜道路に関連した2箇所の試掘・確認調査を実施しました。中通り地方では、伊達市・桑折町において一般国道115号相馬福島道路建設事業に関連した12箇所の試掘・確認調査、小野町において県道吉間田滝根線建設事業に関連した3箇所の試掘調査、郡山市において阿武隈川上流河川改修事業に関連した1箇所の確認調査、矢祭町において国道349号改良工事に関連した3箇所の確認調査、鮫川村において国道289号改良工事に関連した1.1haの分布調査を実施しました。会津地方では、南会津郡下郷町において会津縦貫南道路建設事業に関連した5箇所の試掘・確認調査、下郷町・南会津町において同事業に関連した3.4haの分布調査を実施しました。

試掘・確認調査の結果、存在が知られていた遺跡の範囲や内容が明らかになるとともに、これまで知られていなかった遺跡を発見することができました。

この報告書が、埋蔵文化財の保護や地域の歴史を解明するための基礎資料となり、広く県民の皆様に御活用いただければ幸いです。

最後に、この調査に御協力いただいた当該市町村教育委員会や公益財団法人福島県文化振興財団をはじめ関係機関並びに関係各位に対し深く感謝の意を表します。

平成30年9月

福島県教育委員会

教育長 鈴木 淳一

緒　　言

- 1 本書は、平成29年度に実施した一般国道115号相馬福島道路、県道吉間田滝根線(広瀬工区)、主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)、阿武隈川上流河川改修事業(御代田地区)、地域高規格道路(会津継貫南道路)及び国道349号改良工事(下関工区)の各建設予定地内に所在する遺跡及び遺跡推定地(試掘調査により遺跡の存否を確認する地点)の試掘・確認調査、並びに地域高規格道路(会津継貫南道路)及び国道289号改良工事の分布調査の報告書である。
- 2 この調査は、国庫補助を受け福島県教育委員会が実施した。
- 3 福島県教育委員会は、調査を公益財団法人福島県文化振興財団に委託した。
- 4 福島県教育委員会は、公益財団法人福島県文化振興財団が実施した調査に基づき、埋蔵文化財の取扱いを決定した。
- 5 公益財団法人福島県文化振興財団は、下記の職員を配置して調査を実施した。

副主幹 佐々木 慎一 専門文化財主査 音原 祥夫 文化財主査 近藤 宏幸
- 6 本書は、福島県教育庁文化財課職員及び公益財団法人福島県文化振興財団(遺跡調査部県内遺跡分布調査担当)の職員が執筆した。
- 7 調査にあたっては、地元地権者・地権者会・行政区長をはじめ下記の機関に多くの協力をいただいた。

いわき市教育委員会 伊達市教育委員会 桑折町教育委員会 小野町教育委員会 郡山市教育委員会
矢祭町教育委員会 下郷町教育委員会 南会津町教育委員会 鮫川村教育委員会
福島県土木部(いわき建設事務所・県中建設事務所・会津若松建設事務所・南会津建設事務所)
国土交通省東北地方整備局(磐城国道事務所・福島河川国道事務所・郡山国道事務所)
- 8 事業名称の長いものは、一部省略した表現を用いている。
- 9 本書に使用した遺跡の調査記録及び出土資料は、福島県教育委員会が保管している。

用 例

1 本書における用例は次のとおりである。

- (1) 遺跡及び遺跡推定地の位置図は、国土交通省国土地理院発行縮尺1/25,000の地形図(磐城泉・保原・福島北部・田母神・小野新町・竹貫・湯野上・田島)を、一般国道115号相馬福島道路位置図は、同じく縮尺1/200,000の地勢図(福島)を複製したものを使用している。
- (2) レンチ配置図は、各事業主体作製の縮尺1/1,000・1/2,000・1/2,500地形図を基とした。

2 本書第2章における遺跡・遺跡推定地及びレンチ配置図の用例は次のとおりである。

- (1)  : 現状保存範囲
- (2)  : 未試掘範囲
- (3)  : 工事などの実施にあたっては慎重工事の措置をとる必要がある範囲
- (4)  : 遺跡推定地で遺構・遺物が確認されず、遺跡として取り扱わないと判断された範囲
- (5)  : 遺構・遺物が確認できたレンチ
- (6)  : 遺構・遺物が確認できなかつたレンチ
- (7) ——— : 工事予定範囲
- (8) —— : 周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲
- (9) - - - : 分布調査による遺跡推定地の範囲

3 遺跡推定地の名称は便宜上アルファベットの「B」と算用数字を組合せて表記するが、試掘調査によつて遺跡であることが確定すれば所在地の字名や地名をとり、新たに遺跡名称を付している。

4 各遺跡の呼び方は、「日本地名大辞典7福島県」(角川書店)収録の「小字一覧」にならつたが、通称が定着しているときは、それに従つた。

5 遺構図の用例は次のとおりである。

- (1) 平面図の縮尺は、基本的に各挿図版の右下(スケール右側)に記した。
- (2) 検出した遺構は、網点で表示した。
- (3) 土色の判定に際しては、「新版標準土色帖」(日本色研事業株式会社)を用いた。

6 本書で使用した略号は、次のとおりである。

T : レンチ	L : 遺構外堆積土	ℓ : 遺構内堆積土	
S I : 壴穴住居跡	S K : 土 坑	S D : 溝 跡	P : 小 穴
S X : 壴穴状遺構			
D T : 伊 達 市	Q R : 桑 折 町	O N : 小 野 町	C G : 下 郷 町

目 次

第1章 県内遺跡分布調査の概要	1
第2章 試掘・確認調査	6
第1節 一般国道115号相馬福島道路建設予定地	6
1 伊達市の遺跡 DT-B 24 (7) DT-B 27 (8) 大上山遺跡 (9) DT-B 36 (9) DT-B 35 (9) DT-B 29 (11) 室内遺跡 (第2次調査) (12) DT-B 32 (14) 荒屋敷遺跡 (15) DT-B 33 [荒屋敷道路] (17)	
2 桑折町の遺跡 QR-B 2 [川原田道路] (18) QR-B 4 [笛ノ森道路] (20)	
第2節 県道吉間田滝根線（広瀬工区）建設予定地	21
1 小野町の遺跡 ON-YT・B 1 (21) ON-YT・B 2 (22) ON-YT・B 3 (23)	
第3節 主要地方道いわき上三坂線（小名浜道路）建設予定地	24
1 いわき市の遺跡 江畠町堀ノ内館跡 (25) IWK-B 1 (25)	
第4節 阿武隈川上流河川改修事業（御代田地区）予定地	27
1 郡山市の遺跡 徳定A・B遺跡 (27)	
第5節 地域高規格道路（会津縦貫南道路）建設予定地	28
1 下郷町の遺跡 CG-B 13 (29) CG-B 11 (32) 辻道下遺跡 (32) 辻道遺跡 (33)	
第6節 国道349号改良工事（下関工区）建設予定地	34
1 矢祭町の遺跡 宮平遺跡 (34) 下町遺跡 (36) 田中前遺跡 (36)	
第3章 分布調査	38
第1節 地域高規格道路（会津縦貫南道路）建設予定地	38
第2節 国道289号改良工事（渡瀬バイパス）建設予定地	39
第4章 総括	40
報告書抄録	47

挿図・表・写真目次

[挿 図]

第1章

図 1	県内道路分布調査位置図	1
第2章		
図 2	一般国道 115 号相馬福島道路位置図	6
図 3	伊達市の道路（1）	7
図 4	伊達市の道路（2）	8
図 5	DT-B 24 トレーニング配置図	8
図 6	DT-B 27、大上山遺跡、DT-B 36、 DT-B 35 トレーニング配置図	10
図 7	DT-B 29 條出遺構・土層柱状図	11
図 8	DT-B 29 トレーニング配置図	12
図 9	中室内遺跡條出遺構・土層柱状図・出土遺物	13
図 10	中室内遺跡トレーニング配置図	14
図 11	荒屋敷遺跡條出遺構・土層柱状図・出土遺物	15
図 12	DT-B 32、荒屋敷遺跡、 DT-B 33（荒屋敷遺跡）トレーニング配置図	16
図 13	DT-B 33（荒屋敷遺跡）條出遺構・土層柱状図	18
図 14	桑折町の遺跡	18
図 15	QR-B 2 川原田遺跡）トレーニング配置図	19
図 16	QR-B 4（笠ノ前遺跡）トレーニング配置図	20
図 17	小野町の遺跡	21
図 18	ON-YT-B 1 トレーニング配置図	22
図 19	ON-YT-B 1 條出遺構・土層柱状図・出土遺物	22
図 20	ON-YT-B 2 トレーニング配置図	23
図 21	ON-YT-B 3 トレーニング配置図	24
図 22	主要地方道いわき上三坂線（小名浜道路位置図）	24
図 23	いわき市の遺跡	25

[表]

第1章

表 1	一般国道 115 号相馬福島道路	
試験・確認調査遺跡一覧		2・3
表 2	県道吉間田海根線（広瀬工区）	
試験・確認調査遺跡一覧		2・3
表 3	主要地方道いわき上三坂線（小名浜道路）	
試験・確認調査遺跡一覧		4・5
表 4	阿武隈川上流河川改修事業（御代田地区）	
試験・確認調査遺跡一覧		4・5
表 5	地域高規格道路（会津継貫南北道路）	
試験・確認調査遺跡一覧		4・5
表 6	国道 349 号改良工事試験・確認調査遺跡一覧	
試験・確認調査遺跡一覧		4・5
第2章		
表 7	DT-B 29 トレーニング一覧	11
表 8	中室内遺跡トレーニング一覧	13
表 9	荒屋敷遺跡トレーニング一覧	17
表 10	DT-B 33（荒屋敷遺跡）トレーニング一覧	17
表 11	ON-YT-B 1 トレーニング一覧	22
表 12	CG-B 13 トレーニング一覧	31
表 13	宮平遺跡トレーニング一覧	35

[写 真]

第2章

1	DT-B 29 17 T 條出状況（西から）	11
2	中室内遺跡 18 T 條出状況（北西から）	12
3	荒屋敷遺跡 1 T 條出状況（西から）	17
4	DT-B 33 4 T 土坑様出状況（西から）	17

図 24	江細町堀内路跡トレーニング配置図	26
図 25	I WK-B 10 トレーニング配置図	26
図 26	郡山市の道路	27
図 27	添定 A・B 道跡トレーニング配置図	28
図 28	地域高規格道路（会津継貫南北道路位置図）	29
図 29	下郷町の遺跡①	29
図 30	下郷町の遺跡②	29
図 31	CG-B 13 トレーニング配置図	31
図 32	CG-B 13 條出遺構・土層柱状図・出土遺物	31
図 33	CG-B 11 トレーニング配置図	32
図 34	辻道下遺跡・辻道遺跡トレーニング配置図	33
図 35	CG-B 9 トレーニング配置図	34
図 36	矢祭町の遺跡	35
図 37	宮平遺跡トレーニング配置図	35
図 38	宮平遺跡條出遺構・土層柱状図・出土遺物	36
図 39	下町遺跡トレーニング配置図	37
図 40	田中前遺跡トレーニング配置図	37
第3章		
図 41	会津継貫南北道路（下郷田島バイパス）予定路線と 遺跡・道路指定地	38
図 42	国道 289 号改良工事（渡瀬バイパス）予定路線と 遺跡・道路指定地	39
第4章		
図 43	田向遺跡の範囲	45
図 44	八反田遺跡の範囲	46
図 45	下居平乙遺跡の範囲	46

第3章		
表 14	会津継貫南北道路（下郷田島バイパス） 関連遺跡一覧（下郷町）	38
表 15	国道 289 号改良工事（渡瀬バイパス） 関連遺跡一覧（駒川村）	39
第4章		
表 16	相馬福島道路（雪山～福島）関連試掘・確認調査 対象遺跡成果一覧（伊達市・桑折町）	41
表 17	黒道吉間田海根線（広瀬工区）関連試掘・確認調査 対象遺跡成果一覧（小野町）	42
表 18	主要地方道いわき上三坂線（小名浜道路）関連 試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（いわき市）	42
表 19	阿武隈川上流河川改修事業（御代田地区）関連 試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（郡山市）	43
表 20	地域高規格道路（会津継貫南北道路）関連 試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（下郷町）	43
表 21	国道 349 号改良工事（下関工区）関連 試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（矢祭町）	44
表 22	埋蔵文化財包蔵地（新規・変更）一覧	45

5	CG-B 13 1 T 土坑様出状況（東から）	30
6	CG-B 13 4 T 18 壁状遺構様出状況（東から）	30
第3章		
7	江塩地区（南東から）	39
8	青生野地区（北から）	39

第1章 県内遺跡分布調査の概要

平成29年度は、一般国道115号相馬福島道路、県道吉間田滝根線(広瀬工区)、主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)、阿武隈川上流河川改修事業(御代田地区)、地域高規格道路(会津綾貫南道路)及び国道349号改良工事(下関工区)の6事業(3市4町)についての試掘・確認調査、並びに会津綾貫南道路(下郷田島バイパス)及び国道289号改良工事(渡瀬バイパス)の2事業(1町1村)の分布調査を公益財團法人福島県文化振興財團に委託して実施した。

[一般国道 115号相馬福島道路]

伊達市・桑折町における計画路線内の12箇所、計71,600m²の遺跡及び遺跡推定地を対象に試掘・確認調査を実施した。一般国道115号相馬福島道路は、相馬西道路、阿武隈東道路、阿武隈東～阿武隈、靈山道路、靈山～福島の5区間に分かれて建設が進められている。このうち、阿武隈東道路は平成21年度、阿武隈東～阿武隈は平成26年度、相馬西道路は平成27年度、靈山道路の区間は平成28年度までに試掘・確認調査が終了している。

伊達市地内の靈山～福島の区間では10箇所、計62,000m²の試掘・確認調査を実施した。その結果、D T - B 29、中室内遺跡、荒屋敷遺跡、D T - B 33[荒屋敷遺跡]で遺構・遺物を確認し、D T - B 29では1,300m²、中室内遺跡では4,500m²、荒屋敷遺跡では3,000m²、D T - B 33[荒屋敷遺跡]では2,800m²を保存範囲とした。桑折町地内の靈山～福島の区間では、2箇所、計9,600m²の試掘・確認調査を実施した。保存対象箇所は、確認できなかった。

[県道吉間田滝根線(広瀬工区)]

小野町における計画路線内の3箇所、計8,600m²の遺跡推定地を対象に試掘調査を実施した。その結果、ON - YT - B 1で遺構・遺物を確認し、1,700m²を保存範囲とした。

なお、これをもって、広瀬改良(県道吉間田滝根線)の試掘・確認調査はすべて終了した。

[主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)]

いわき市における計画路線内の2箇所計12,700m²の遺跡及び遺跡推定地を対象に試掘・確認調査を実施した。

保存対象箇所は、確認できなかった。

[阿武隈川上流河川改修事業(御代田地区)]

郡山市における河川改修計画地内の徳定A・B遺跡、計4,900m²を対象に確認調査を実施した。

保存対象箇所は、確認できなかった。



図1 県内遺跡分布調査位置図

表1-1 一般国道115号相馬福島道路試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内面積(m ²)	平成29年度調査			
					対象面積(m ²)	トレンチ本数	掘削面積(m ²)	割合
D T - B 24	伊達市保原町所沢字安住内	丘陵	H29.8.30～9.5	5,600	5,600	12	168.0	3.0%
D T - B 27	伊達市保原町大柳字大上山	丘陵	H29.9.6～9.11	4,500	4,500	9	94.5	2.1%
大上山遺跡	伊達市保原町大柳字柳原入	丘陵	H29.9.12～9.13	5,600	5,600	11	124.0	2.2%
D T - B 36	伊達市保原町大柳字柳原入	丘陵	H29.9.14～9.21	10,700	10,700	22	354.0	3.2%
D T - B 35	伊達市保原町大柳字柳原入	丘陵	H29.9.22～9.27	2,500	1,100	2	21.0	1.9%
D T - B 29	伊達市保原町上保原字田向	自然堤防	H29.6.1～6.13	23,200	10,300	22	432.0	4.2%
中室内遺跡	伊達市保原町上保原字中室内	自然堤防	H29.6.19～6.28 H29.8.28～8.29	15,200	9,100	23	358.0	3.9%
D T - B 32	伊達市伏黒字旗ノ内	自然堤防	H29.9.25～9.28	7,100	1,800	3	60.0	3.3%
荒屋敷遺跡	伊達市伏黒字荒屋敷字六角	自然堤防	H29.7.9～7.20	10,700	10,400	22	424.0	4.1%
D T - B 33 【荒屋敷遺跡】	伊達市伏黒字川岸	自然堤防	H29.7.4～7.5	11,600	2,900	7	127.0	4.4%
			霊山～福島(伊達市) 計	96,700	62,000	133	2,162.5	3.5%
Q R - B 2 【川原田遺跡】	桑折町大字松原字川原田	段丘	H29.4.10～4.12	18,500	3,600	9	139.0	3.9%
Q R - B 4 【道ノ前遺跡】	桑折町大字松原字館ノ前	段丘	H29.12.4～12.6	20,300	6,000	8	183.5	3.1%
			霊山～福島(桑折町) 計	38,800	9,600	17	322.5	34%
相馬福島道路	合計(1)			135,500	71,600	150	2,485	3.5%

表2-1 県道吉間田淹根線(広瀬工区) 試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内面積(m ²)	平成29年度調査			
					対象面積(m ²)	トレンチ本数	掘削面積(m ²)	割合
O N - Y T - B 1	小野町大字小野新町字八反田	丘陵	H29.7.3～7.7	2,400	2,400	5	215.5	8.9%
O N - Y T - B 2	小野町大字小野新町字孤平	丘陵	H29.7.10	900	900	1	72	8.0%
O N - Y T - B 3	小野町大字小野新町字大久保	丘陵	H29.7.11～7.26	5,300	5,300	16	435.0	8.2%
県道吉間田淹根線(小野町)	合計(2)			8,600	8,600	22	722.5	8.4%

【注】：表中のトレンチ内の%は、今年度の試掘・確認調査対象面積に対するトレンチ掘削面積の割合を示す。

【地域高規格道路(会津綿貫南北道路)】

下郷町における計画路線内(小沼崎・湯野上バイパス)の5箇所計20,900m²の遺跡及び遺跡推定地を対象に試掘・確認調査を実施した。C G - B 13で遺構・遺物を確認し、1,050m²を保存範囲とした。

【国道349号改良工事(下関工区)】

矢祭町における下関工区計画路線内の3箇所計8,300m²の遺跡を対象に確認調査を実施した。宮平遺跡で遺構・遺物を確認し、2,300m²を保存範囲とした。

表 1-2 一般国道115号相馬福島道路試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	平成29年度調査結果		取扱い	保存面積 (m ²)	未試掘 面積 (m ²)	備考
	遺構	遺物				
D T - B 24	なし	なし	除外	0	0	試掘調査終了
D T - B 27	なし	なし	除外	0	0	試掘調査終了
大上山遺跡	なし	なし	慎重工事	0	0	確認調査終了
D T - B 36	なし	なし	除外	0	0	試掘調査終了
D T - B 35	なし	なし	除外	0	0	試掘調査終了
D T - B 29	柱穴・溝跡	なし	一部保存	1300	5450	
中室内遺跡	堅穴住居跡・溝跡・土坑・小穴	土器・須恵器	一部保存	4,500	1,250	
D T - B 32	なし	なし	除外	0	5,300	
荒星遺道跡	溝跡・小穴・堅穴状遺構	土器・須恵器	一部保存	3,000	300	
D T - B 33 〔荒星遺道跡〕	溝跡・土坑	弥生土器・土器	一部保存	2,800	0	
		雲山-福島(伊達市) 計		11,600	12,300	
Q R - B 2 〔川原田遺跡〕	なし	須恵器	慎重工事・除外	0	0	試掘調査終了
Q R - B 4 〔船ノ前遺跡〕	なし	なし	慎重工事・除外	0	0	試掘調査終了
		雲山-福島(桑折町) 計		0	0	
相馬福島道路 合計(1)				11,600	12,300	

表 2-2 県道吉間田滝根線(広瀬工区) 試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	平成29年度調査結果		取扱い	保存面積 (m ²)	未試掘 面積 (m ²)	備考
	遺構	遺物				
ON - YT - B 1	堅穴住居跡・溝跡	弥生土器・土器・羽口	一部保存	1,700	0	試掘調査終了
ON - YT - B 2	なし	なし	除外	0	0	試掘調査終了
ON - YT - B 3	なし	なし	除外	0	0	試掘調査終了
県道吉間田滝根線(小野町) 合計(2)				1,700	0	

[分 布 調 査]

下郷町～南会津町における会津縱貫南道路(下郷田島バイパス)の計画路線内 11km、3.4haについて実施した。新規の遺跡推定地 1箇所を確認した。

また、鮫川村における国道 289 号改良工事(渡瀬バイパス)の計画路線内 3.4km、1.1haについて実施した。周知の埋蔵文化財包蔵地 2箇所を確認した。

表3-1 主要地方道いわき上三坂線（小名浜道路）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内面積 (m ²)	平成29年度調査			
					対象面積 (m ²)	トレンチ 本数	掘削面積 (m ²)	割合
江畑塚／内塙跡	いわき市江畑町塙／内塙野町旗田	丘陵	H29.8.1～8.4	10,100	10,100	7	84.5	0.1%
IWK-B10	いわき市高倉町ノ作札場	丘陵	H29.8.7～8.10	2,600	2,600	5	40.5	1.6%
小名浜道路（いわき市）合計（3）				12,700	12,700	12	125.0	1.0%

表4-1 阿武隈川上流河川改修事業（御代田地区）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内面積 (m ²)	平成29年度調査			
					対象面積 (m ²)	トレンチ 本数	掘削面積 (m ²)	割合
徳定A・B遺跡	郡山市田村町徳定	自然堤防	H29.8.23～8.31	14,300	4,900	5	78.0	1.6%
阿武隈川上流河川（郡山市）合計（4）				14,300	4,900	5	78.0	1.6%

表5-1 地域高規格道路（会津綾賀南道路）試掘・確認調査遺跡一覧

道路名	所在地	立地	調査期間	工区内面積 (m ²)	平成29年度調査			
					対象面積 (m ²)	トレンチ 本数	掘削面積 (m ²)	割合
C G-B13	下郷町高隣字下居平乙	段丘	H29.10.16～10.18	12,000	8,600	22	193.5	2.3%
C G-B11	下郷町中妻字辻道	段丘	H29.10.19～10.20	7,000	2,000	6	57.0	2.9%
辻道下遺跡	下郷町中妻字辻道下	段丘	H29.10.23～10.24	3,700	2,900	6	49.5	1.7%
辻道遺跡	下郷町中妻字辻道	段丘	H29.10.25～10.26	900	2,300	5	63.0	2.7%
C G-B9	下郷町中妻字新田乙	段丘	H29.10.30～11.2	5,100	5,100	15	177.0	3.5%
会津綾賀南道路（下郷町）合計（5）				28,700	20,900	54	540	2.6%

表6-1 国道349号改良工事（下関工区）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内面積 (m ²)	平成29年度調査			
					対象面積 (m ²)	トレンチ 本数	掘削面積 (m ²)	割合
宮平遺跡	矢祭町大字下関河内字宮平	段丘	H29.11.2	3,500	2,400	4	39.0	1.6%
下町遺跡	矢祭町大字下関河内字下町	段丘	H29.11.6	5,900	2,300	6	69.0	3.0%
田中前遺跡	矢祭町大字下関河内字田中前	段丘	H29.11.7～11.15	3,600	3,600	10	127.5	3.5%
国道349号改良工事（矢祭町）合計（6）				13,000	8,300	20	235.5	2.8%
平成29年度試掘・確認調査遺跡 総合計（1）+（2）+（3）+（4）+（5）+（6）				212,800	127,000	263	4,186.0	3.3%

〔注〕：表中のトレンチ内の%は、今年度の試掘・確認調査対象面積に対するトレンチ掘削面積の割合を示す。

表3-2 主要地方道いわき上三坂線（小名浜道路）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	平成29年度調査結果		取扱い	保存面積 (m ²)	未試掘 面積 (m ²)	備考
	遺構	遺物				
江畑駅ノ内館跡	なし	なし	慎重工事	0	0	確認調査終了
I WK-B 10	なし	なし	除外	0	0	試掘調査終了
小名浜道路（いわき市）		合計(3)		0	0	

表4-2 阿武隈川上流河川改修事業（御代田地区）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	平成29年度調査結果		取扱い	保存面積 (m ²)	未試掘 面積 (m ²)	備考
	遺構	遺物				
徳定A・B遺跡	なし	なし	慎重工事	0	9,400	
阿武隈川上流河川（郡山市）		合計(4)		0	9,400	

表5-2 地域高規格道路（会津綾賀南道路）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	平成29年度調査結果		取扱い	保存面積 (m ²)	未試掘 面積 (m ²)	備考
	遺構	遺物				
C G-B 13	堅穴状遺構・土坑	石器	一部保存	1,050	0	試掘調査終了
C G-B 11	なし	なし	除外	0	0	試掘調査終了
辻道下遺跡	なし	なし	慎重工事	0	0	確認調査終了
辻道遺跡	なし	なし	慎重工事	0	0	確認調査終了
C G-B 9	なし	なし	除外	0	0	試掘調査終了
会津綾賀南道路（下郷町）		合計(5)		1,050	0	

表6-2 国道349号改良工事（下関工区）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	平成29年度調査結果		取扱い	保存面積 (m ²)	未試掘 面積 (m ²)	備考
	遺構	遺物				
宮平遺跡	土坑・小穴	縄文土器・石器	一部保存	2,300	1,100	
下町遺跡	なし	なし	慎重工事	0	3,600	
田中前遺跡	なし	なし	慎重工事	0	0	試掘調査終了
国道349号改良工事（矢祭町）		合計(6)		2,300	4,700	
平成29年度試掘・確認調査跡 総合計(1)+(2)+(3)+(4)+(5)+(6)				16,650	26,400	

第2章 試掘・確認調査

第1節 一般国道115号相馬福島道路建設予定地

一般国道115号相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ全長45kmの高規格道路（自動車専用道路）として計画され、平成23年度から東日本大震災からの早期復興を図る復興支援道路として緊急に整備されることとなった。全5区間のうち、相馬西道路と阿武隈東道路の2区間は国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所が、阿武隈東～阿武隈と靈山道路と靈山～福島の3区間は国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所が事業を進めている。

このうち、阿武隈東道路は平成29年3月26日より、阿武隈東～阿武隈は平成30年3月10日より供用が開始された。本事業の埋蔵文化財に関する調査は、平成14年度の阿武隈東道路での分布調査により開始した（『福島県内遺跡分布調査報告9』）。その後、同区間では平成18年度より試掘・確認調査を実施し（『福島県内遺跡分布調査報告14』）、平成21年度には同区間に係る本発掘調査はすべて終了した。相馬西道路の区間に係る分布調査は平成23年度に実施し、平成25年度より試掘・確認調査を開始し、平成27年度には同区間に係る試掘・確認調査及び本発掘調査はすべて終了した（『福島県内遺跡分布調査報告19・21・23』）。阿武隈東～阿武隈の区間に係る分布調査は平成24年度に実施し、同年度より試掘・確認調査を開始し、平成26年度には同区間に係る試掘・確認調査及び本発掘調査はすべて終了した（『福島県内遺跡分布調査報告20・21』）。靈山道路の区間に係る発掘調査は平成18・21年度に実施し、平成24年度より試掘・確認調査を開始し、平成28年度には同区間に係る試掘・確認調査及び本発掘調査はすべて終了した（『福島県

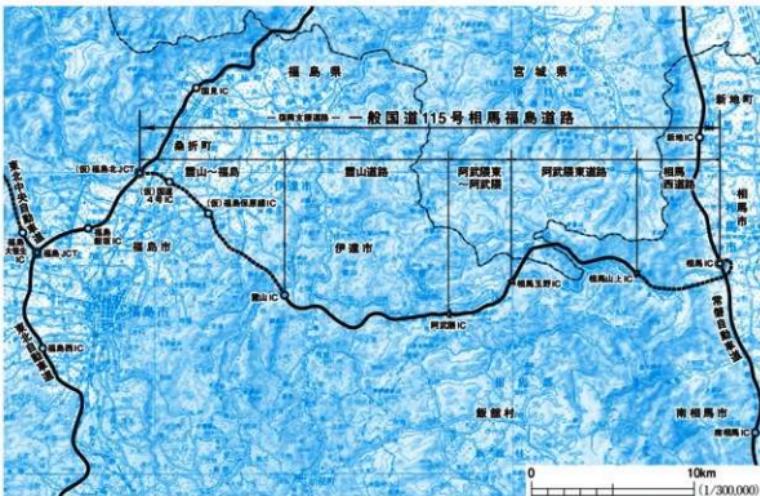


図2 一般国道115号相馬福島道路位置図

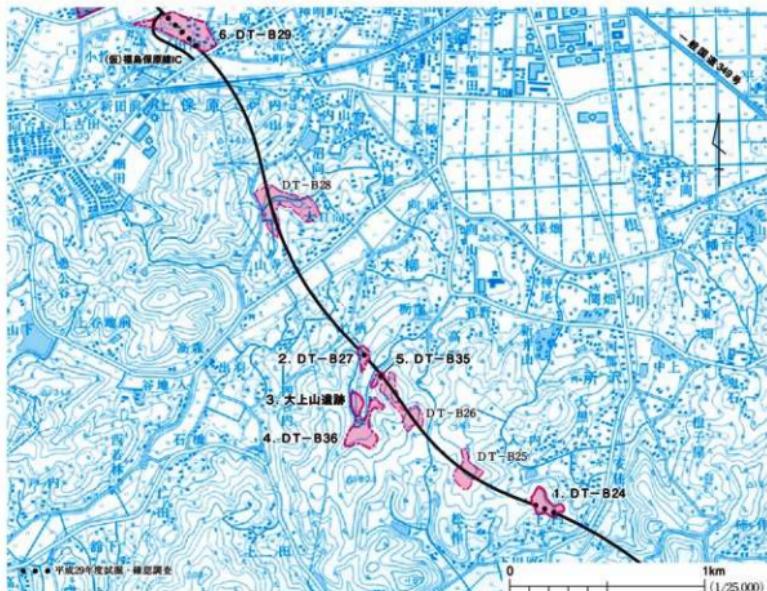


図3 伊達市の遺跡（1）

内遺跡分布調査報告14・17・20・24】。霊山～福島の区間に係る分布調査は平成24年度に実施し、平成26年度より試掘・確認調査を開始した（〔福島県内遺跡分布調査報告21・22・24〕）。平成29年度は、伊達市に所在する遺跡・遺跡推定地（計10箇所）、桑折町に所在する遺跡・遺跡推定地（計2箇所）で試掘・確認調査を実施した。

1 伊達市の遺跡

DT-B24

所 在 地 伊達市霊山町下小国字荒屋敷

調査対象面積 5,600m²

保 存 面 積 0m²

検 出 遺 構 なし

出 土 遺 物 なし

所 在 地 伊達市保原町所沢字安住内

[概 要] DT-B24は、平成24年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である（〔福島県内遺跡分布調査報告21〕）。丘陵頂部～南向き緩斜面に立地し、現況は山林である。

本年度の試掘調査は、工区内の5,600m²を対象に、トレンチ12本を設定して行った。

[ま と め] 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、遺跡として扱わない。また、今回の調査をもって、DT-B25のすべての試掘調査は終了した。



図4 伊達市の遺跡（2）

DT-B27

所 在 地 伊達市保原町大柳字大上山

調査対象面積 4,500m²

保 存 面 積 0m²

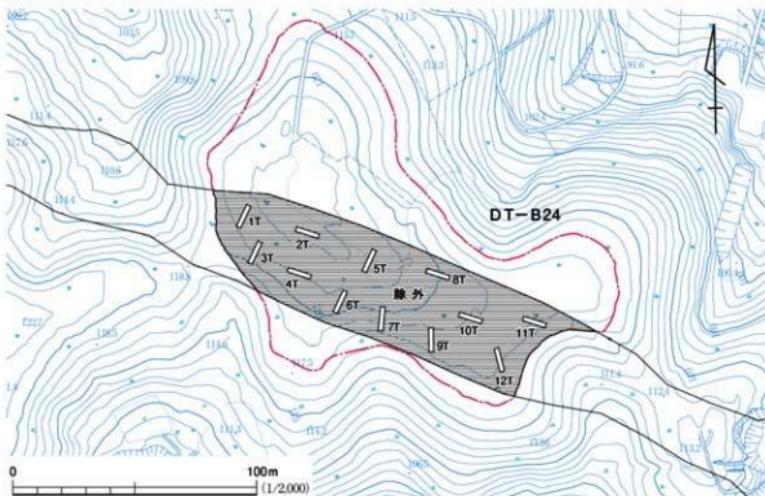


図5 DT-B24トレンチ配置図

検出遺構なし

出土遺物なし

【概要】DT-B27は、平成24年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。南東向きの丘陵斜面に立地し、現況は山林である。

本年度の試掘調査は、工区内の4,500m²を対象に、トレンチ9本を設定して行った。

【まとめ】試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、遺跡として扱わない。また、今回の調査をもって、DT-B27のすべての試掘調査は終了した。

大上山遺跡

所在地 伊達市保原町大柳字柄窪入

調査対象面積 5,600m²

保存面積 0m²

検出遺構なし

出土遺物なし

【概要】大上山遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である。南向きの丘陵斜面及び谷底に立地し、現況は山林・水田である。本年度の確認調査は、工区内の5,600m²を対象に、トレンチ11本を設定して行った。

【まとめ】確認調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、保存対象外と判断した。

また、今回の調査をもって、大上山遺跡のすべての確認調査は終了した。

DT-B36

所在地 伊達市保原町大柳字柄窪入

調査対象面積 10,700m²

保存面積 0m²

検出遺構なし

出土遺物なし

【概要】DT-B36は、平成24年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。谷奥を囲む丘陵緩斜面に立地し、現況は山林である。

本年度の試掘調査は、工区内の10,700m²を対象に、トレンチ22本を設定して行った。

【まとめ】試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、遺跡として扱わない。また、今回の調査をもって、DT-B36のすべての試掘調査は終了した。

DT-B35

所在地 伊達市保原町大柳字柄窪入

調査対象面積 1,100m²

保存面積 0m²

検出遺構なし

出土遺物なし

【概要】DT-B35は、平成24年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。その後、平成27年度に工区内の1,400m²を対象に試掘調査を実施した結果、保存対象箇所は確認されなかった。

本年度の試掘調査は、工区内の1,100m²を対象に、トレンチ2本を設定して行った。

【まとめ】試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、遺跡として扱わない。また、今回の調査をもって、DT-B35のすべての試掘調査は終了した。

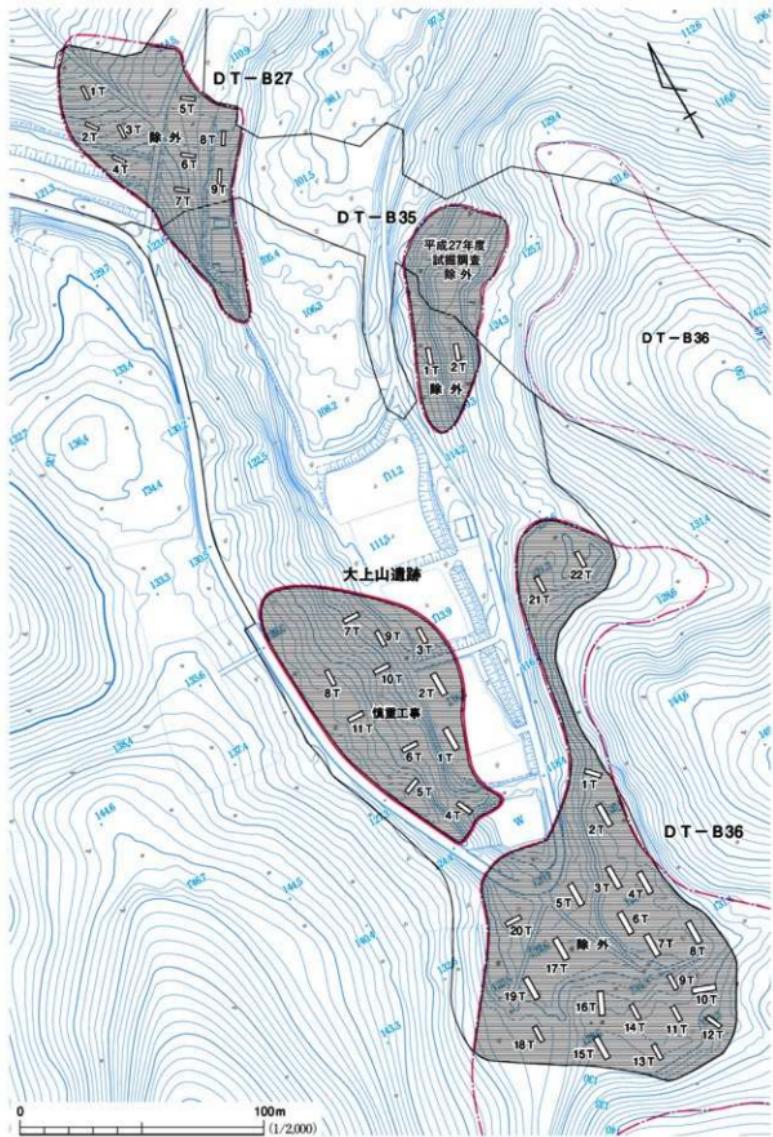


図6 DT-B27、大上山遺跡、DT-B36、DT-B35トレンチ配置図

DT-B29

所在地 伊達市保原町上保原字田向

調査対象面積 10,300m²保存面積 1,300m²

検出遺構 柱穴・溝跡

出土遺物 なし

[概要] DT-B29は、平成24年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である(『福島県内遺跡分布調査報告21』)。その後、平成28年度に工区内の3,900m²を対象に試掘調査を実施した結果、保存対象箇所は確認できなかつた(『福島県内遺跡分布調査報告24』)。阿武隈川の旧河道に沿って形成された自然堤防上に立地し、現況は果樹園・畑地・宅地である。

本年度の試掘調査は、工区内の10,300m²を対象に、トレーンチ22本を設定して行った。

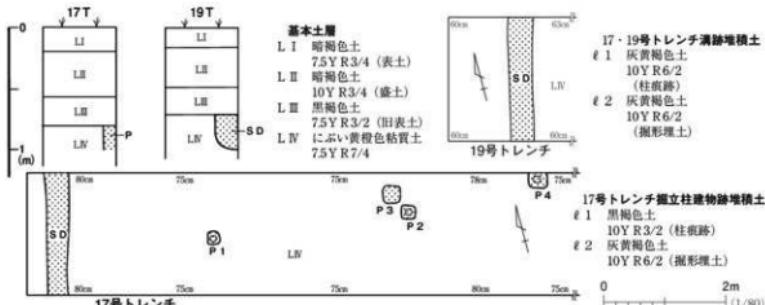


図7 DT-B29検出遺構・土層柱状図

[遺構・遺物] 17Tでは柱穴4基、溝跡1条、19Tでは溝跡1条を検出した。このうち17Tの柱穴は、径25~37cmの小型で、隅丸方形を呈し、中近世の掘立柱建物跡の一部であると推定される。また、17Tと19Tの溝跡は、規模・方向が一致することから、同一遺構とみられ、掘立柱建物跡と同時期の可能性がある。遺物は、各トレーンチからまったく出土しなかった。

[まとめ] 試掘調査の結果、遺構を確認した17・19Tを中心とした範囲(1,300m²)については、保存の必要がある。それ以外の箇所については、保存対象外とし、遺跡として扱わない。

なお、本遺跡推定地では、5,400m²の未試掘範囲がある。



1 DT-B29 17T 遺構検出状況(西から)

表7 DT-B29トレーンチ一覧

トレーンチ番号	検出遺構			出土遺物
	種類(時代)	確認面までの深さ	追積内	
17T	柱穴・溝跡(中近世)	80cm	×	
19T	溝跡(中近世)	80cm	○	

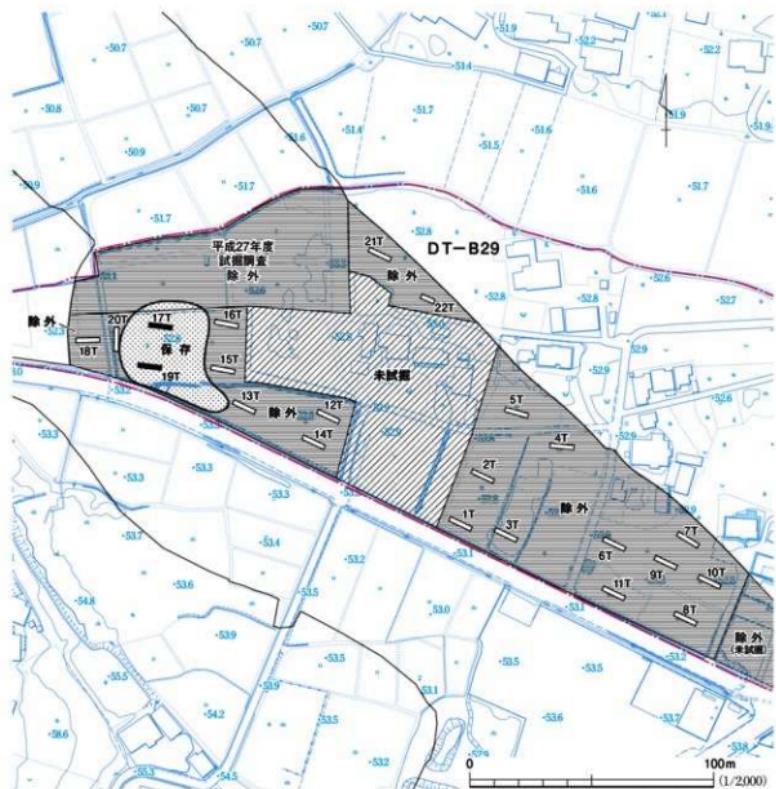


図8 DT-B29トレンチ配置図

中室内遺跡（第2次調査）

所 在 地 伊達市保原町上保原字中室内

調査対象面積 9.100m²

保 存 面 積 4.500m²

検 出 遺 構 堪穴住居跡・溝跡・土坑・小穴

出 土 遺 物 土師器・須恵器

[概 要] 中室内遺跡は周知の埋蔵文化財
包蔵地であったが、平成24年度の分布調査にお
いて、包蔵地範囲の拡がることが確認され、台
帳の変更を行った(『福島県内遺跡分布調査報告



2 中室内遺跡 18T 遺構検出状況（北西から）

21)。その後、平成28年度に工区内の4,800m²を対象に確認調査を実施した結果、保存対象箇所は確認できなかった(『福島県内遺跡分布調査報告24』)。

阿武隈川の旧河道に沿って形成された自然堤防上に立地し、現況は果樹園・水田・宅地である。

本年度の確認調査は、工区内の9,100m²を対象に、トレント23本を設定して行った。

[構造・遺物] 10Tでは溝跡1条、14Tでは堅穴住居跡1棟、小穴1基、17Tでは小穴2基、18Tでは堅穴住居跡1棟、19Tでは堅穴住居跡1棟、土坑1基、20Tでは溝跡1条、21Tでは土坑1基を検出した。このうち14・18・19Tの堅穴住居跡、及び19・21Tの土坑は、検出面から古墳時代の土器が出土したため、同時代の所産と判断できる。また、10・

20Tの溝跡は、古墳時代の旧表土面を壊して掘り込んでおり、古い地籍図や現地表面に観察できる中室内館

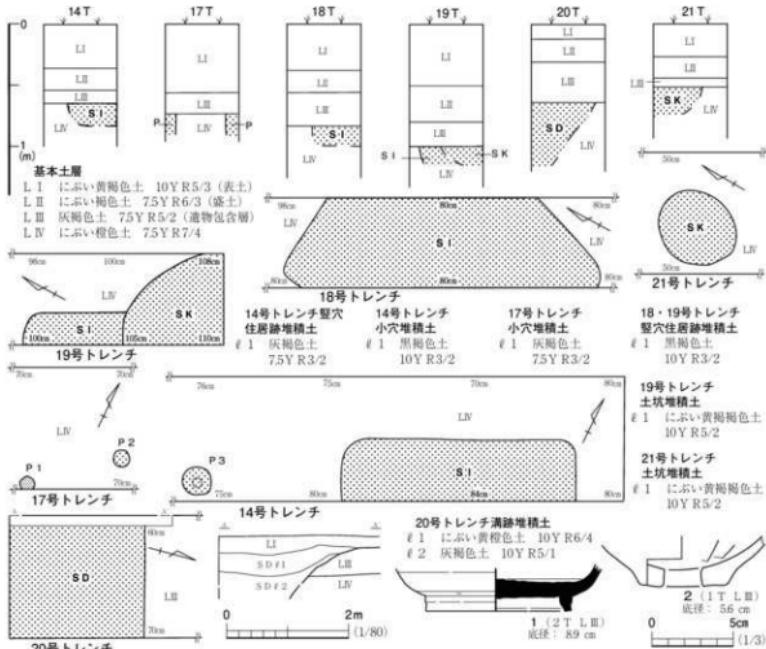


図9 中室内遺跡検出構造・土層柱状図・出土遺物

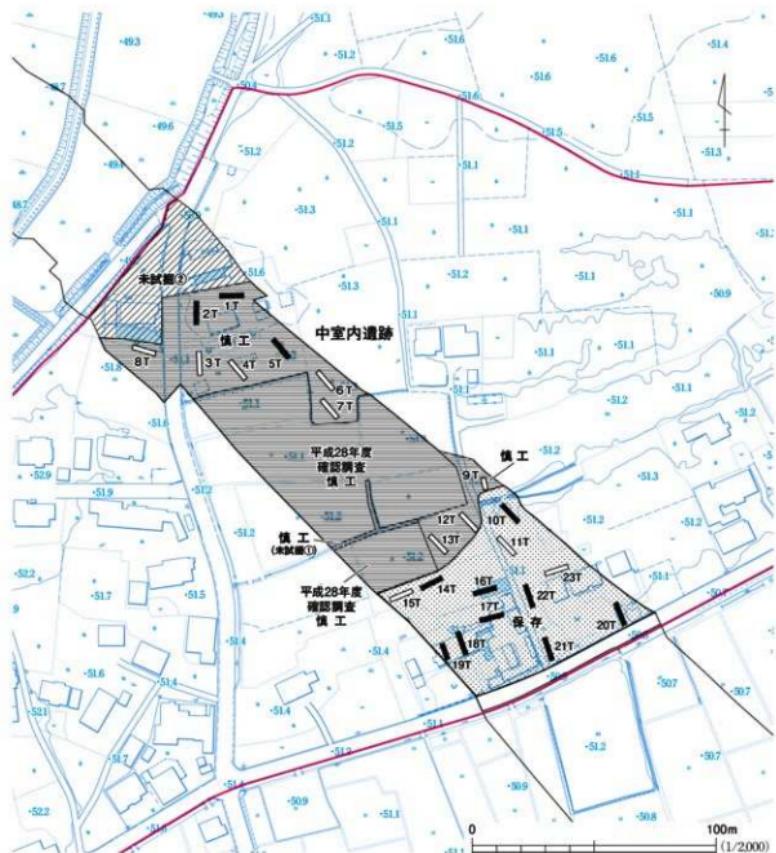


図10 中室内遺跡トレーンチ配置図

跡の掘跡の一部と推定される。さらに、14・17Tの小穴は、館跡に伴う掘立柱建物跡の柱穴の可能性がある。

[ま と め] 確認調査の結果、遺構・遺物を確認した10・14・16～22Tを中心とした範囲(4,500m²)については、保存の必要がある。それ以外の箇所については、保存対象外とし、遺跡として扱わない。また、本年度に確認調査を実施できなかった未試掘①(50m²)についても、本年度の確認調査の結果により、遺構・遺物の分布が予想できることから、保存対象外と判断した。よって、本遺跡の未試掘範囲は、1,250m²(未試掘②)となる。

DT-B 32

所 在 地 伊達市伏黒字館ノ内

調査対象面積 1,800m²保 存 面 積 0 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

[概 要] D T - B 32は、平成24年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である(『福島県内遺跡分布調査報告21』)。阿武隈川の旧河道に沿って形成された自然堤防上に立地し、現況は畑地・水田・宅地である。

本年度の試掘調査は、工区内の1,800m²を対象に、トレンチ3本を設定して行った。

[ま と め] 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、遺跡として扱わない。

なお、本遺跡推定地では、5,300m²の未試掘範囲がある。

荒屋敷遺跡

所 在 地 伊達市伏黒字荒屋敷、字六角

調査対象面積 10,400m²保 存 面 積 3,000m²

検出遺構 溝跡・小穴・堅穴状遺構

出土遺物 土師器・須恵器

[概 要] 荒屋敷遺跡は周知の埋蔵文化財包蔵地であったが、平成28年度のD T - B 33[荒屋敷遺跡]の試掘調査の結果により、その一部を含める形で範囲の変更を行った(『福島県内遺跡分布調査報告24』)。

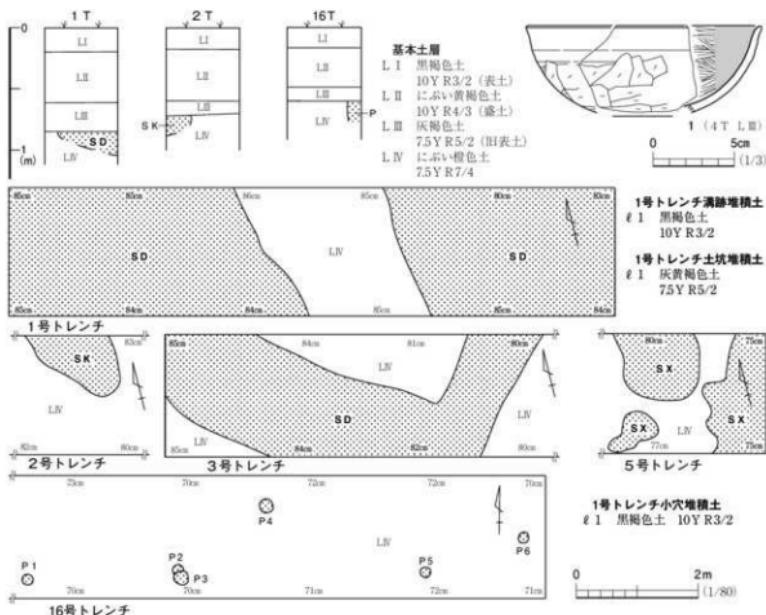


図11 荒屋敷遺跡検出遺構・土層柱状図・出土遺物

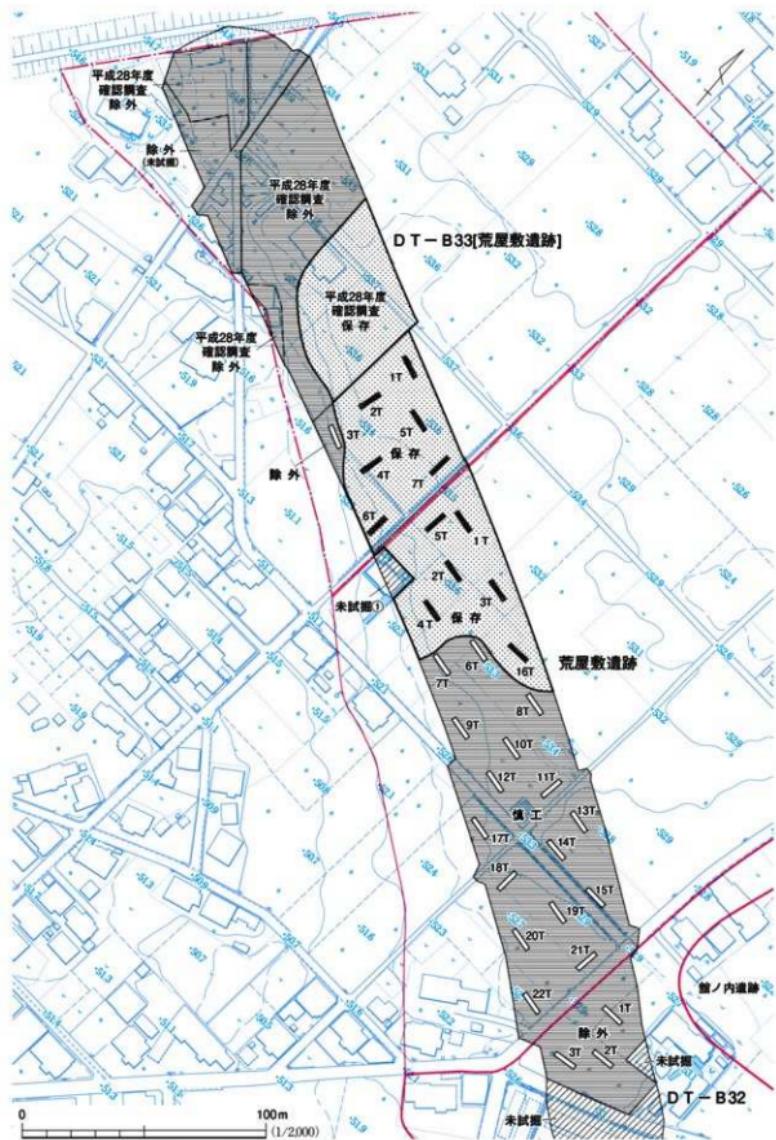


図12 DT-B32・荒屋敷遺跡・DT-B33【荒屋敷遺跡】トレーンチ配置図

阿武隈川の旧河道に沿って形成された自然堤防上に立地し、現況は果樹園・水田・宅地である。

本年度の確認調査は、工区内の10,400m²を対象に、トレント22本を設定して行った。

[遺構・遺物] 1Tでは溝跡2条、2Tでは土坑1基、3Tでは溝跡1条、5Tでは竪穴状遺構1基(遺存は一部底面のみ)、16Tでは小穴6基を確認した。このうち1Tの溝跡は、検出面から古墳時代の土師器が出土したため、同時代の所産と推定される。その他の遺構は、出土遺物が無く、周囲から弥生・古墳・平安時代の土器が出土しているため、時期特定は難しい。

[まとめ] 確認調査の結果、遺構・遺物を確認した1~5、16Tを中心とした範囲(3,000m²)については、保存の必要がある。それ以外の箇所については、保存対象外とし、遺跡として扱わない。これにより、平成28年度調査区から続く保存範囲の拡がりを確定した。

なお、本遺跡推定地では、300m²の未試掘範囲がある。

D T - B 33 [荒屋敷遺跡]

所在地 伊達市伏黒字川岸

調査対象面積 2,900m²

保存面積 2,800m²

検出遺構 溝跡・土坑

出土遺物 弥生土器・土師器

[概要] DT-B33[荒屋敷遺跡]は、平成24年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である(『福島県内遺跡分布調査報告21』)。その後、平成28年度の試掘調査の結果により、一部を荒屋敷遺跡に含める形で範囲の変更を行った(『福島県内遺跡分布調査報告24』)。阿武隈川の旧河道に沿って形成された自然堤防上に立地し、現況は果樹園・水田・宅地である。

本年度の確認調査は、工区内の2,900m²を対象に、トレント7本を設定して行った。



3 荒屋敷遺跡 1T 遺構検出状況(西から)

表9 荒屋敷遺跡トレント一覧

トレント番号	検出遺構			出土遺物
	種類 (時代)	確認面までの深さ	遺構内 掘込み	
1T	溝路(古墳)	85cm	○	土師器
2T	土坑	80cm	×	土師器・須恵器
3T	溝路	85cm		須恵器
4T				土師器
5T	竪穴状遺構	75cm	×	
16T	小穴	70cm	×	土師器



4 DT-B33 4T 土坑検出状況(西から)

表10 DT-B33 [荒屋敷遺跡] トレント一覧

トレント番号	検出遺構			出土遺物
	種類 (時代)	確認面までの深さ	遺構内 掘込み	
1T	溝路	110cm	○	
2T				
4T	土坑	85cm	×	土師器
5T				土師器
6T				弥生土器・土師器
7T				土師器

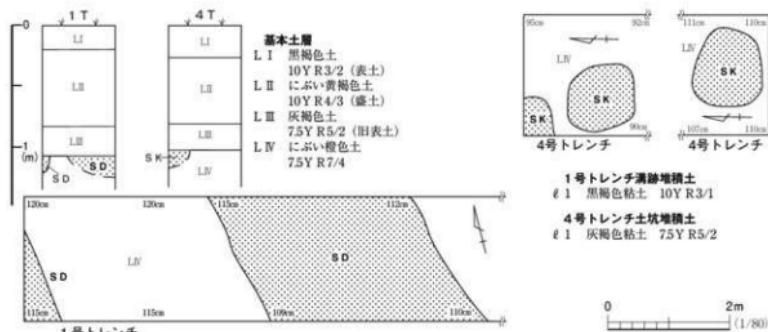


図13 DT-B33 [荒屋敷遺跡] 検出遺構・土層柱状図

[構造・遺物] 1 Tでは溝跡2条、4 Tでは土坑3基を確認した。いずれの遺構も出土遺物が無く、3 Tを除くすべてのトレンチから、弥生土器及び古墳時代～平安時代の土師器・須恵器が出土していることから、時期特定は難しい。

[まとめ] 試掘調査の結果、遺構・遺物を確認した1・2、4～7 Tを中心とした範囲(2,800m²)については、保存の必要がある。それ以外の箇所については、保存対象外とし、遺跡として扱わない。これにより、平成28年度調査区から続く保存範囲の拡がりを確定した。

また、今回の調査をもって、DT-B33[荒屋敷遺跡] のすべての試掘調査は終了した。

2 桑折町の遺跡

QR-B2 [川原田遺跡]

所在地 桑折町大字松原字川原田

調査対象面積 3,600m²

保存面積 0 m²



図14 桑折町の遺跡

検出遺構なし

出土遺物 須恵器

[概 要] QR-B2〔川原田遺跡〕は、平成24年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である(『福島県内遺跡分布調査報告21』)。その後、平成28年度の試掘調査の結果により、一部を川原田遺跡に含める形で範囲の変更を行った(『福島県内遺跡分布調査報告24』)。江戸時代に開削された西根上堰と下堰の間の低位段丘に立地する。

本年度の試掘調査は、工区内の3,600m²を対象に、トレンチ9本を設定して行った。

[ま と め] 試掘調査の結果、遺構は確認できず、遺物は後世に流入した表土出土の須恵器1点のみだった。よって、工区内の調査範囲は、遺跡として扱わない。

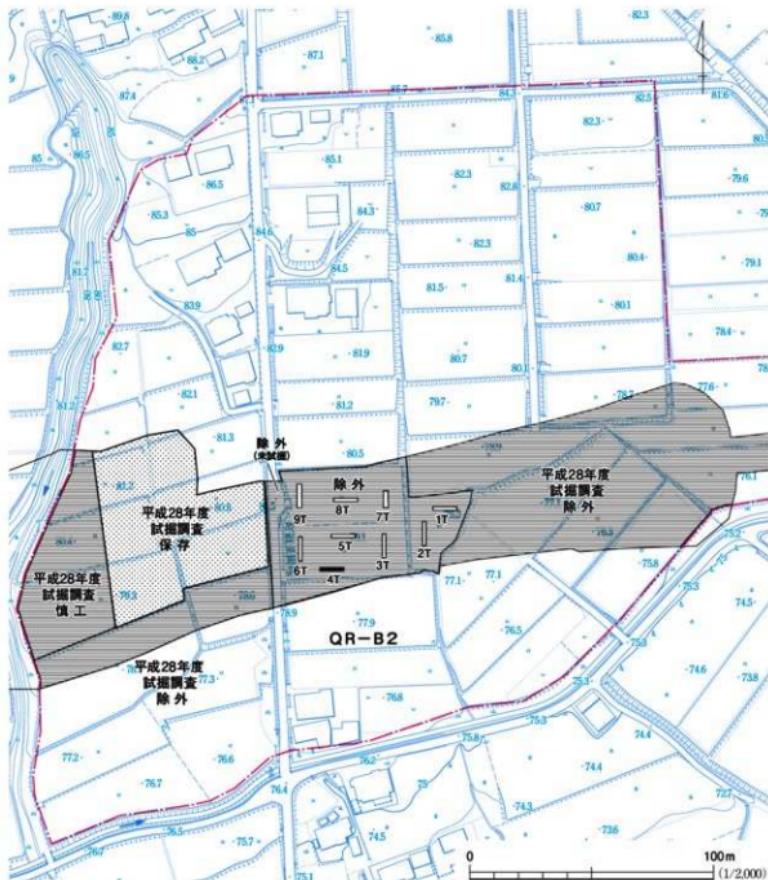


図15 QR-B2〔川原田遺跡〕トレンチ配置図

また、未試掘範囲(300m²)についても、本年度の試掘調査の結果により、遺構・遺物の分布が予想できないことから、保存対象外と判断した。

なお、今回の調査をもって、QR-B2【川原田遺跡】のすべての試掘調査は終了した。

QR-B4【館ノ前遺跡】

所 在 地 桑折町大字松原字館ノ前

調査対象面積 6,000m²

保 存 面 積 0m²

検出遺構 なし

出 土 遺 物 なし

[概 要] QR-B4【館ノ前遺跡】は、平成24年度の分布調査において、QR-B4の名称で遺跡推定地として追加され(『福島県内遺跡分布調査報告21』)、その後、平成28年度の試掘調査の結果により、新規に登録した埋蔵文化財包蔵地である(『福島県内遺跡分布調査報告24』)。江戸時代に開削された西根上堰と下堰との間の低位段丘に立地する。

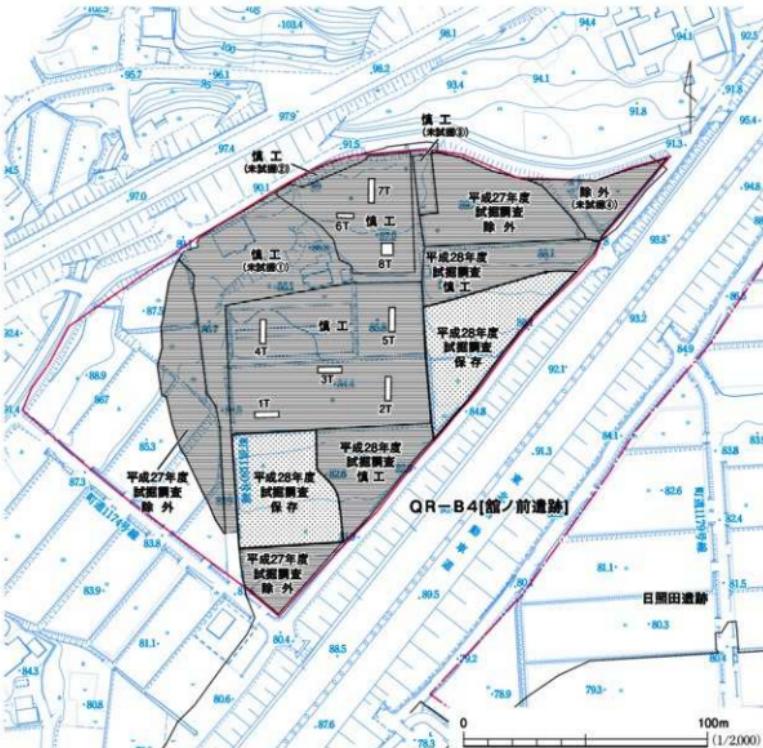


図16 QR-B4【館ノ前遺跡】トレンチ配置図

本年度の確認調査は、工区内の6,000m²を対象に、トレッチ8本を設定して行った。

[まとめ] 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、遺跡として扱わない。また、本年度に試掘調査を実施できなかった未試掘範囲①～④(4,400m²)についても、本年度の試掘調査の結果により、遺構・遺物の分布が予想できないことから、保存対象外と判断した。

なお、今回の調査をもって、QR-B4〔館ノ前遺跡〕のすべての試掘調査は終了した。

第2節 県道吉間田滝根線(広瀬工区)建設予定地

県道吉間田滝根線(広瀬工区)は、特殊通行規制区间や防災危険箇所、未改良区间の回避により、住民生活等における定時性や連達性を確保するための総長9.2kmの防災事業である。現在、福島県土木部県中建設事務所が事業を進めている。

平成29年度は、2工区(延長2km)の遺跡推定地3箇所で試掘調査を実施した。



図17 小野町の遺跡

1 小野町の遺跡

ON-YT・B1

所 在 地 小野町大字小野新町字八反田

調査対象面積 2,400m²

保 存 面 積 1,700m²

検 出 遺 構 堪穴住居跡・溝跡

出 土 遺 物 弥生土器・土師器・羽口

[概 要] ON-YT・B1は、平成25年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である。丘陵の西向き緩斜面に開削した幅狭い谷底に立地し、現況は畑地である。

本年度の試掘調査は、工区内の2,400m²を対象に、トレッチ5本を設定して行った。

[遺構・遺物] 3 Tでは溝跡1条、4 Tでは竪穴住居跡1棟、溝跡1条を確認した。このうち4 Tの竪穴住居跡は、検出面から古墳時代の土師器が出土し、3 Tの溝跡は、検出面から弥生土器が出土したことから、それぞれ同時代の所産と考えられる。このほか、5 Tでは中近世のものとみられる

表11 ON-YT・B1トレンチ一覧

トレンチ番号	検出遺構			出土遺物
	種類(時代)	確認面までの深さ	遺構内での深さ	
3 T	溝跡	60cm	○	弥生土器
4 T	竪穴住居跡(古墳)・溝跡	60cm	×	土師器
5 T				土師器・通風管



図18 ON-YT・B1トレンチ配置図

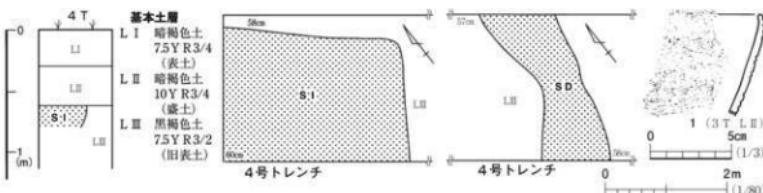


図19 ON-YT・B1検出遺構・土層柱状図・出土遺物

る通風管が出土した。

[まとめ] 試掘調査の結果、遺構・遺物を確認した3~5 Tを中心とした範囲(1,700m²)については、保存の必要がある。それ以外の箇所については、保存対象外とし、遺跡として扱わない。また、今回の調査をもって、ON-YT・B1のすべての試掘調査は終了した。

ON-YT・B2

所 在 地 小野町大字小野新町字狐平

調査対象面積 900m²

検出遺構 なし

保存面積 0m²

出土遺物 なし

[概要] ON-YT・B2は、平成25年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である。丘陵の南西向き斜面に開析した谷奥に立地し、現況は山林である。

本年度の試掘調査は、工区内の900m²を対象に、トレンチ1本を設定して行った。

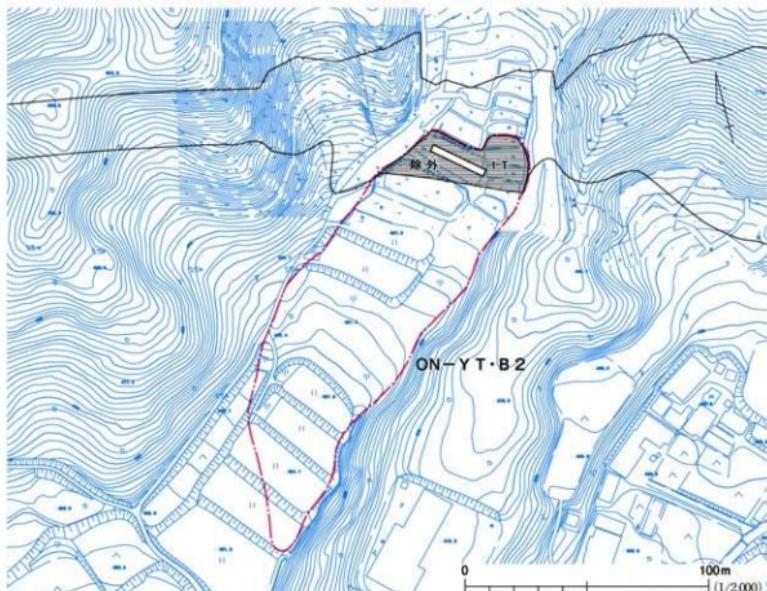


図20 ON-YT・B2トレンチ配置図

[まとめ] 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、遺跡として扱わない。また、今回の調査をもって、ON-YT・B2のすべての試掘調査は終了した。

ON-YT・B3

所在地 小野町大字小野新町字大久保

調査対象面積 5,300m²

検出遺構 なし

保存面積 0m²

出土遺物 なし

[概要] ON-YT・B3は、平成25年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である。丘陵の頂部と西～南東向き斜面に立地し、現況は山林である。

本年度の試掘調査は、工区内の5,300m²を対象に、トレンチ16本を設定して行った。

[まとめ] 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、遺跡として扱わない。また、今回の調査をもって、ON-YT・B3のすべての試掘調査は終了した。

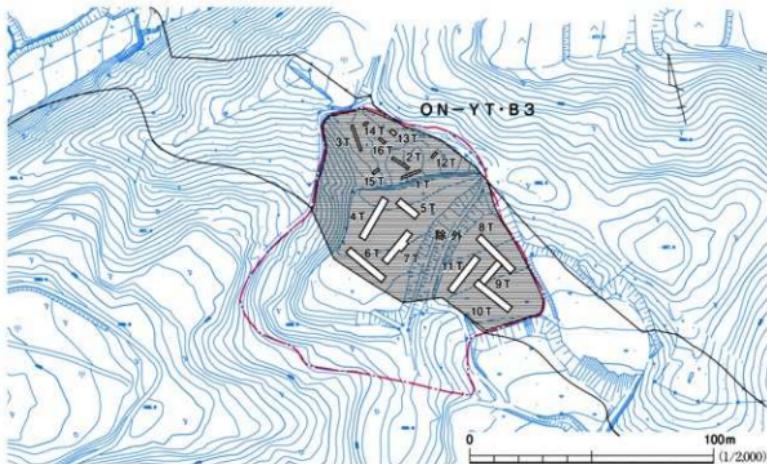


図21 ON-YT・B3 トレーンチ配置図

第3節 主要地方道いわき上三坂線(小名浜道路)建設予定地

主要地方道いわき上三坂小野線（小名浜道路）は、重要港湾小名浜港と常磐自動車道を全長8.3kmの自動車専用道路で結び、広域物流ネットワークの強化によって避難地域の復興を支援するとともに、小名浜港背後の整備事業と連携し、当地域の産業・観光復興の拠点化を支援する、ふくしま復興再生道路として整備されることとなった。現在、福島県土木部いわき建設事務所が事業を進めている。

本事業にかかる分布調査は平成25年度に実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地3箇所と新規の遺跡推定地13

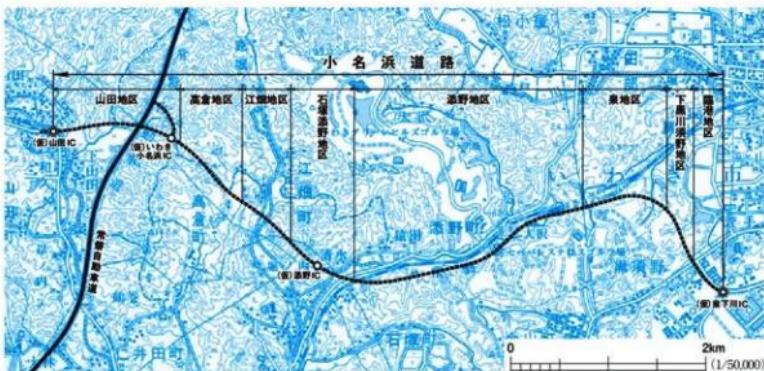


図22 主要地方道いわき上三坂線（小名浜道路位置図）

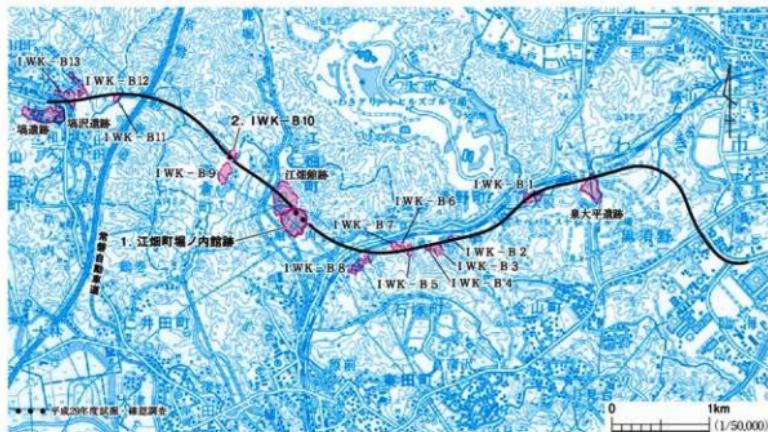


図23 いわき市の遺跡

箇所を確認した（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。その後、平成27年度に周知の埋蔵文化財包蔵地1箇所の確認調査を実施した（『福島県内遺跡分布調査報告23』）。

本年度は、いわき市江畑地区及び石塚添野地区における遺跡・遺跡推定地（計2箇所）で試掘・確認調査を実施した。

1 いわき市の遺跡

江畑町堀ノ内館跡

所 在 地 いわき市江畑町堀ノ内、添野町猿田

調査対象面積 10,100m²

保 存 面 積 0m²

検 出 遺 構 なし

出 土 遺 物 なし

[概 要] 江畑町堀ノ内館跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である。丘陵に立地し、現況は山林である。

本年度の確認調査は、工区内の10,100m²を対象に、トレンチ7本を設定して行った。

[ま と め] 確認調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、保存対象外と判断した。

また、今回の調査をもって、江畑町堀ノ内館跡のすべての確認調査は終了した。

I WK - B 10

所 在 地 いわき市高倉田ノ作、札場

調査対象面積 2,600m²

保 存 面 積 0m²

検 出 遺 構 なし

出 土 遺 物 なし

[概 要] I WK - B 10は、平成25年度の分布調査で新たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺

跡分布調査報告21】。丘陵の南西向き斜面に立地し、現況は山林である。

本年度の試掘調査は、工区内の2600m²を対象に、トレーンチ5本を設定して行った。

【まとめ】 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、遺跡として扱わない。

また、今回の調査をもって、I WK-B 10のすべての試掘調査は終了した。

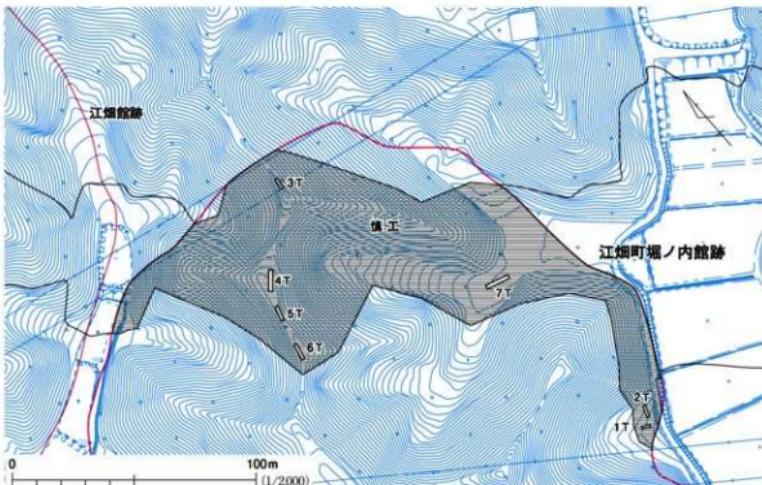


図24 江畠町堀ノ内館跡トレーンチ配置図

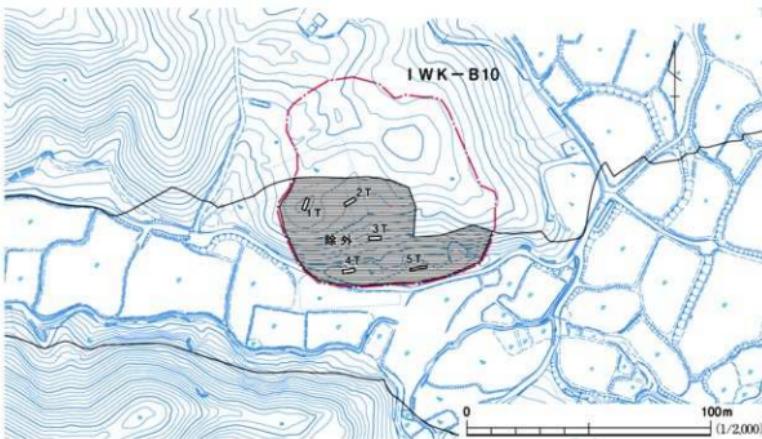


図25 I WK-B 10トレーンチ配置図

第4節 阿武隈川上流河川改修事業(御代田地区)予定地

阿武隈川上流河川改修事業（御代田地区）は、平成18年策定の阿武隈川水系河川整備計画（平成24年に一部見直し）に基づき、家屋などへの被害が生じる無堤箇所や堤防幅・強度の不足箇所において河道の目標流量を安全に流下させるために、堤防の整備を実施するものである。現在、国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所が事業を進めている。

本年度は、郡山市御代田地区（延長1.8km）における遺跡1箇所の確認調査を実施した。

1 郡山市の遺跡

徳定A・B遺跡

所 在 地 郡山市田村町徳定

調査対象面積 4,900m²

保 存 面 積 0m²

検出遺構 なし

出 土 遺 物 なし

[概 要] 徳定A・B遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である。阿武隈川右岸の自然堤防上に立地し、現況は畠地・荒地・宅地である。また、JR東北新幹線が通過している。

本年度の確認調査は、工区内の4,900m²を対象に、トレンチ5本を設定して行った

[ま と め] 確認調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、保存対象外と判断した。

なお、本遺跡では9,400m²の未試掘範囲がある。

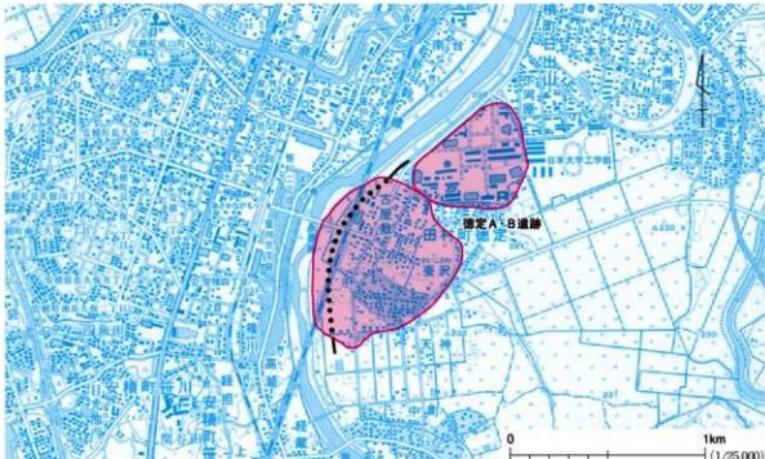


図26 郡山市の遺跡

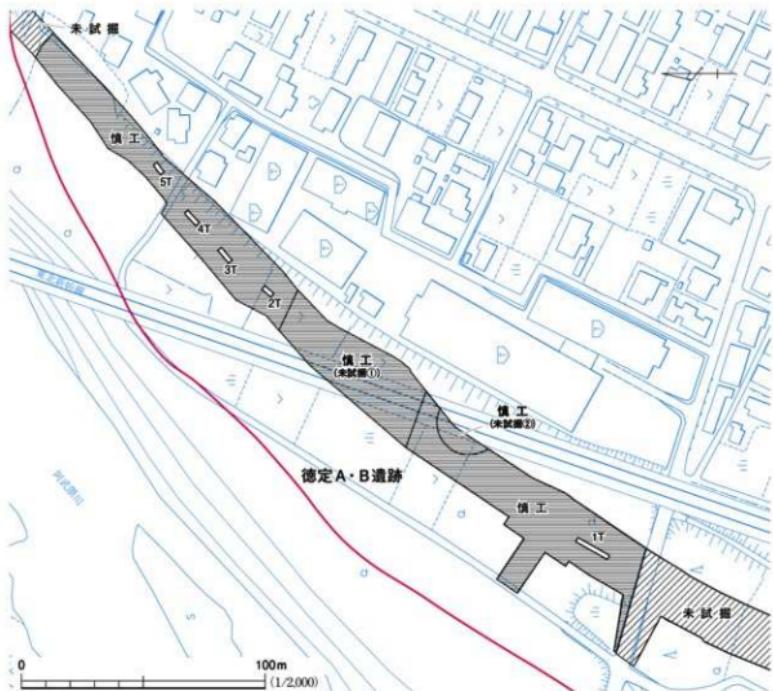


図27 德定A・B遺跡トレンチ配置図

第5節 地域高規格道路(会津縦貫南道路)建設予定地

地域高規格道路(会津縦貫南道路)は、会津地方の南北軸となる国道121号の機能を強化することにより、地域の活性化を図ることを目的に計画が進められている自動車専用道路である。会津若松市から南会津郡下郷町を経て、南会津郡南会津町に至る総延長50kmの地域高規格道路で、将来的には北は山形県米沢市と、南は福島県日光市と結ばれる計画となっている。福島県が事業主体となり、平成14年度に小沼崎バイパス1.5km、平成19年度には湯野上バイパス8.3kmが一般国道改築事業として着手された。このうち湯野上バイパスは、平成24年度から国土交通省の直轄権限代行事業として進められている。

会津縦貫南道路に関する埋蔵文化財の調査は、平成18・19年度に小沼崎・湯野上バイパスの約9.8kmの分布調査を実施し、12箇所の遺跡及び遺跡推定地を確認した(『福島県内遺跡分布調査報告13・14』)。その後、平成24・26年度に試掘・確認調査を、平成27年度に試掘・確認調査及び栗林遺跡の本発掘調査を、平成28年度に瀧ノ入遺跡の本発掘調査を実施している(『福島県内遺跡分布調査報告20・22・23』)。

本年度は、下郷町における遺跡・遺跡推定地(計5箇所)の試掘・確認調査を実施した。

第5節 地域高規格道路(会津縦貫南道路)建設予定地



図28 地域高規格道路（会津縦貫南道路位置図）



図29 下郷町の遺跡①

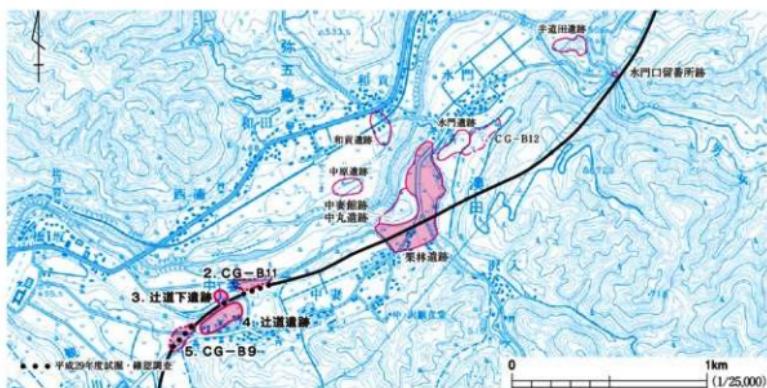


図30 下郷町の遺跡②

1 下郷町の遺跡

C G - B 13

所 在 地 下郷町高隣字下居平乙

調査対象面積 8,600m²保 存 面 積 1,050m²

検出遺構 土坑・竪穴状遺構

出 土 遺 物 石器

【概要】 C G - B 13は、平成19年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である(『福島県内遺跡分布調査報告14』)。

その後、平成26年度に工区内の600m²を対象に試掘調査を実施した結果、保存対象箇所は確認できなかった(『福島県内遺跡分布調査報告22』)。

さらに、平成27年度には下郷町教育委員会が工区内の1,600m²を対象に、福島県教育委員会が工区内の1,200m²を対象に、それぞれ試掘調査を実施した結果、福島県教育委員会の調査区で保存範囲(150m²)が確定した(『福島県内遺跡分布調査報告23』)。

阿賀川支流の鶴沼川右岸の低位段丘面に立地し、現況は水田である。

本年度の試掘調査は、工区内の8,600m²を対象に、トレンチ22本を設定して行った。

【遺構・遺物】 1 Tでは土坑1基、4 Tでは竪穴状遺構1基を確認した。

このうち1 Tの土坑は、平成27年度の福島県教育委員会の試掘調査で確認された円形土坑と規模・堆積土がよく似ており、縄文時代の貯蔵穴と推定される。

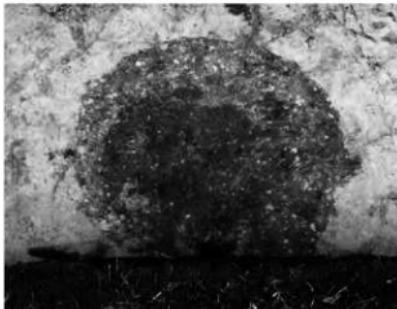
また、4 Tの竪穴状遺構は、検出面から縦型石匙が出土したため、縄文時代の竪穴住居跡の可能性がある。

これらの所見から、鶴沼川右岸の最も標高の低い断丘面に、縄文時代の集落跡の存在を想定することができる。

【まとめ】 試掘調査の結果、遺構・遺物を確認した1・4 Tを中心とした範囲(1,050m²)については、保存の必要がある。

それ以外の箇所については、保存対象外とし、遺跡として扱わない。

これにより、平成27年度の調査で確定している保存面積(150m²)と併せ、本遺跡推定地の保存面積の合計は1,200m²となる。



5 CG-B13 1 T 土坑検出状況（東から）



6 CG-B13 4 T 竪穴状遺構検出状況（東から）

また、今回の調査をもって、CG-B13のすべての試掘調査は終了した。

表12 CG-B13トレンチ一覧

トレンチ番号	種類(時代)	検出遺構		出土遺物
		確認面までの深さ	追抜き	
1T	土坑(縄文)	30cm	○	
4T	堅穴状遺構(縄文)	30cm	×	石器

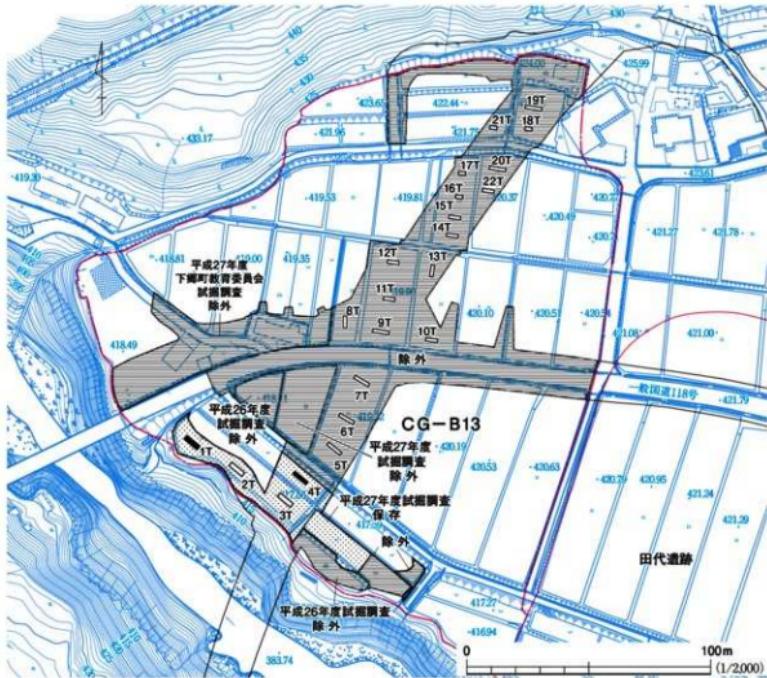


図31 CG-B13トレンチ配置図

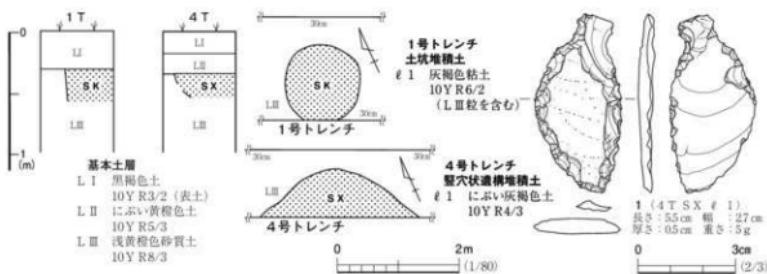


図32 CG-B13検出遺構・土層柱状図・出土遺物

CG-B11

所 在 地 下郷町中妻字辻道

調査対象面積 2,000m²保 存 面 積 0m²

検 出 遺 構 なし

出 土 遺 物 なし

[概 要] CG-B11は、平成19年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である(『福島県内遺跡分布調査報告14』)。その後、平成27年度に工区内の4,700m²を対象に試掘調査を実施した結果、保存対象箇所は確認できなかった(『福島県内遺跡分布調査報告23』)。阿賀川に面した低位段丘面に立地し、現況は水田である。

本年度の試掘調査は、工区内の2,000m²を対象に、トレーナー6本を設定して行った。

[ま と め] 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、遺跡として扱わない。また、今回の調査をもって、CG-B11のすべての試掘調査は終了した。

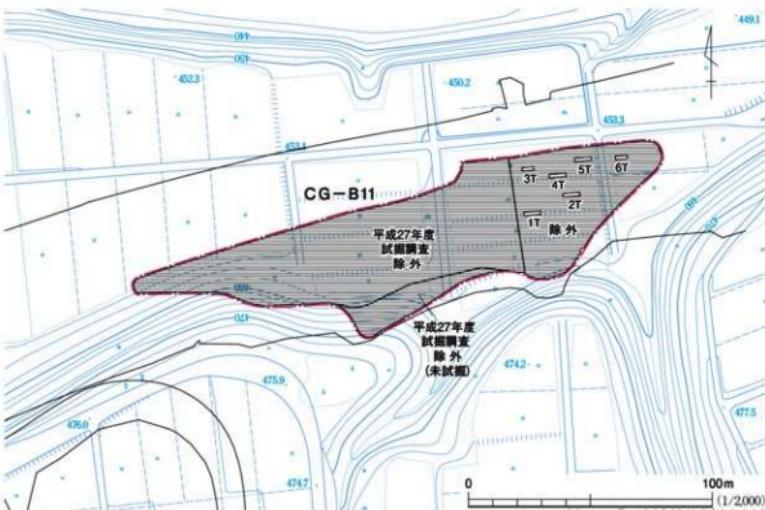


図33 CG-B11トレーナー配置図

辻道下遺跡

所 在 地 下郷町中妻字辻道下

調査対象面積 2,900m²保 存 面 積 0m²

検 出 遺 構 なし

出 土 遺 物 なし

[概 要] 辻道下遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である。平成27年度に工区内の700m²を対象に確認調査を実施した結果、保存対象箇所は確認できなかった(『福島県内遺跡分布調査報告23』)。阿賀川に面し

た低位段丘面に立地し、現況は水田である。

本年度の確認調査は、工区内の2,900m²を対象に、トレンチ6本を設定して行った。

[ま と め] 確認調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、保存対象外と判断した。また、今回の調査をもって、辻道下遺跡のすべての確認調査は終了した。

辻道遺跡

所 在 地 下郷町中妻字辻道

調査対象面積 2,300m²

保 存 面 積 0 m²

検 出 遺 構 なし

出 土 遺 物 なし

[概 要] 辻道遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である。阿賀川に面した上位段丘面に立地し、現況は水田である。本年度の確認調査は、同一地形を呈するため、一部遺跡の範囲外を含む工区内の2,300m²を対象に、トレンチ5本を設定して行った。

[ま と め] 確認調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、保存対象外と判断した。

また、今回の調査をもって、辻道遺跡のすべての確認調査は終了した。

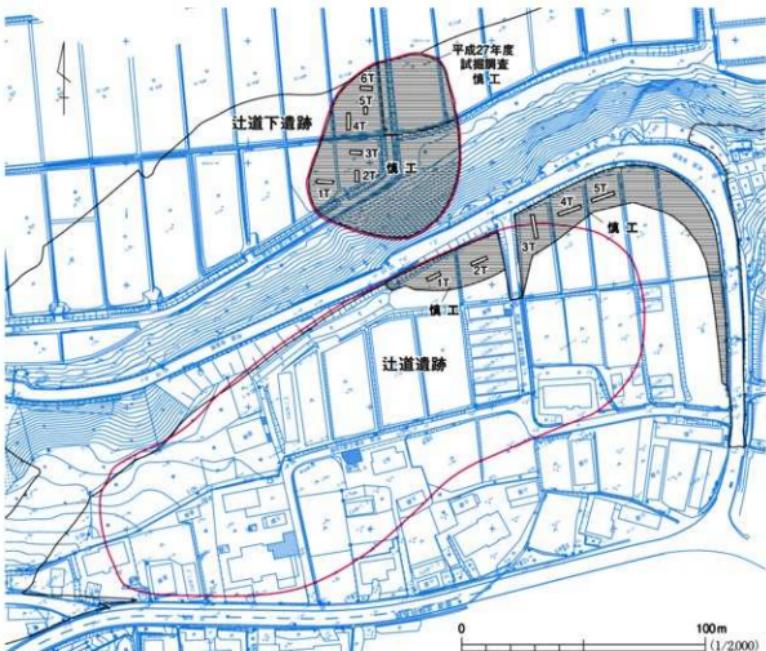


図34 辻道下遺跡・辻道遺跡トレンチ配置図

CG-B9

所在地 下郷町中妻字新田乙

調査対象面積 5.100m²保存面積 0m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

【概要】 CG-B9は、平成18年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である(『福島県内遺跡分布調査報告書13』)。阿賀川に面した上位段丘面に立地し、現況は畠地である。

本年度の試掘調査は、工区内の5.100m²を対象に、トレンチ15本を設定して行った。

【まとめ】 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、遺跡として扱わない。また、今回の調査をもって、CG-B9のすべての試掘調査は終了した。



図35 CG-B9トレンチ配置図

第6節 国道349号改良工事(下関工区)建設予定地

国道349号改良工事は、矢祭町大塙地区から塙町に至る東白川郡の主要交通路の確保を目的に計画され、現在、福島県土木部県南建設事務所が事業を進めている。埋蔵文化財に関する調査は、平成14年度から矢祭町教育委員会が継続的に実施してきたが、本年度より、福島県教育委員会が下関工区に係る試掘・確認調査を開始した。対象となるのは、遺跡4箇所である(中山遺跡と中子遺跡は、矢祭町教育委員会の調査済み)。

本年度は、このうち矢祭町における遺跡3箇所で確認調査を実施した。

1 矢祭町の遺跡

宮平遺跡



図36 矢祭町の遺跡

所在地 矢祭町大字下関河内字宮平

調査対象面積 2,400m²保存面積 2,300m²

検出遺構 土坑・小穴

出土遺物 繩文土器・石器

【概要】 宮平遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である。平成28年度に、矢祭町教育委員会が工区内の2,000m²を対象に確認調査を実施した結果、縄文時代の遺物包含層が確認された。久慈川支流の小田川に

表13 宮平遺跡トレンチ一覧

トレンチ番号	検出遺構		出土遺物
	種類(時代)	確認面までの深さ 道構内 照込み	
10T			
11T	土坑(縄文)・小穴	60cm	× 縄文土器・石器

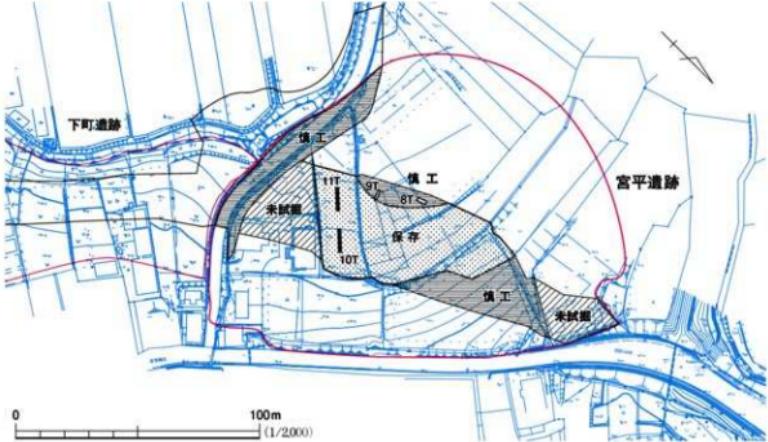


図37 宮平遺跡トレンチ配置図



図38 宮平遺跡検出構・土層柱状図・出土遺物

面した低位段丘面に立地し、現況は畠地である。

本年度の確認調査は、矢祭町教育委員会の調査範囲を含む工区内の2,400m²を対象に、トレンチ4本を設定して行った。

[遺構・遺物] 11Tでは土坑1基、小穴4基を確認した。このうち土坑は、隣接する10Tの遺物包含層から繩文土器、打製石斧が出土したため、繩文時代の所産と考えられる。小穴は、時期不明である。

[まとめ] 今回の調査成果に平成28年度の矢祭町教育委員会の調査成果を勘案すると、10・11T周辺から西側の範囲(2,300m²)については、保存の必要がある。それ以外の箇所については、保存対象外と判断した。また、本遺跡では1,100m²の未試掘範囲がある。

下町遺跡

所在地 矢祭町大字下関河内字下町

調査対象面積 2,300m²

保 存 面 積 0m²

検出遺構 なし

出 土 遺 物 なし

[概要] 下町遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である。久慈川支流の小田川に面した低位段丘面に立地し、現況は畠地である。

本年度の確認調査は、工区内の2,300m²を対象に、トレンチ6本を設定して行った。

[まとめ] 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、保存対象外と判断した。また、本遺跡では3,600m²の未試掘範囲がある。

田中前遺跡

所在地 矢祭町大字下関河内字田中前

調査対象面積 3,600m²

保 存 面 積 0m²

検出遺構 なし

出 土 遺 物 なし

[概要] 田中前遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である。久慈川支流の小田川に面した低位段丘面に立地し、現況は畠地である。

本年度の確認調査は、工区内の3,600mを対象に、トレーンチ10本を設定して行った。

[まとめ] 確認調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、保存対象外と判断した。また、今回の調査をもって、田中前遺跡のすべての確認調査は終了した。



図39 下町遺跡トレーンチ配置図

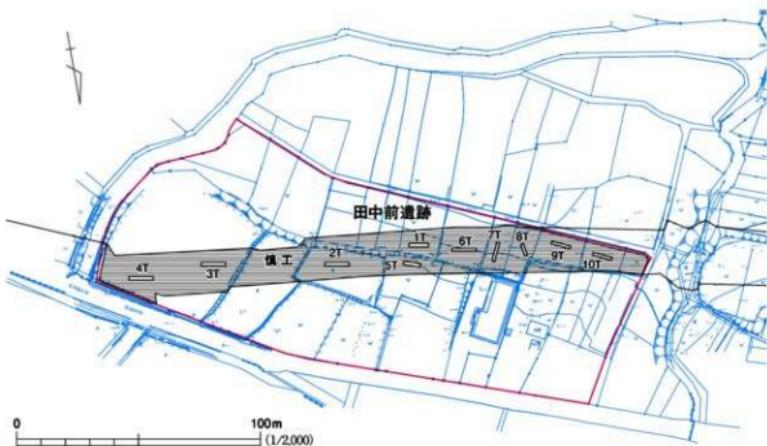


図40 田中前遺跡トレーンチ配置図

第3章 分布調査

第1節 地域高規格道路(会津縦貫南道路)建設予定地

地域高規格道路（会津縦貫南道路）は、会津地方の南北軸となる国道121号の機能を強化することにより、地域の活性化を図ることを目的に計画が進められている総長50kmの自動車専用道路である。

本年度は、下郷町～南会津町にまたがる下郷田島バイパスの分布調査を行った。平成29年11月に実施した分布調査の結果、遺物は採取できなかったものの、周知のジイゴ坂A遺跡・ジイゴ坂B遺跡と同一地形の段丘面で、表14に掲載した新規の遺跡推定地1箇所を確認した。

なお、今回提示した遺跡推定地及び工区内面積については、今後の工事計画の変更などにより、変動する可能性がある。

表14 会津縦貫南道路（下郷田島バイパス）関連遺跡一覧（下郷町）

No.	道路名	遺跡番号	所在地	現況	時代	採取遺物	工区内面積(m ²)	備考
1	CG-B14		下郷町落合字ジイゴ坂	果樹園・荒地			9,370m ²	新発見の道路推定地 工区内計 9,370m ²



図41 会津縦貫南道路（下郷田島バイパス）予定路線と遺跡・遺跡推定地

第2節 国道289号改良工事(渡瀬バイパス)建設予定地

国道289号改良工事(渡瀬バイパス)は、現道が急峻な地形のため道路幅が狭く、また急カーブが多いため、地域間の交流や連携、地域振興に支障をきたしていることから整備する、総長7.4kmの新しい道路である。本年度は、鮫川村における2工区について分布調査を行った。平成19年12月に実施した分布調査の結果、表15に示した周知の埋蔵文化財包蔵地2箇所を確認した。

なお、今回提示した調査対象遺跡及び工区内面積については、今後の工事計画の変更などにより、変動する可能性がある。

表15 国道289号改良工事(渡瀬バイパス)関連遺跡一覧(鮫川村)

No.	道路名	遺跡番号	所在地	現況	時代	採取遺物	工区内面積(m ²)	備考
1	姿平西 製鉄遺跡	48400089	鮫川村渡瀬字青生野	山林	近世		4,400m ²	周知の埋蔵文化財包蔵地
2	姿平西遺跡	48400077	鮫川村渡瀬字青生野	山林	縄文		2,000m ²	周知の埋蔵文化財包蔵地
工区内計								6,400m ²



図42 国道289号改良工事(渡瀬バイパス)予定路線と遺跡・跡跡推定地



7 江堀地区(南東から)



8 青生野地区(北から)

第4章 総 括

平成29年度は、試掘・確認調査を6事業(3市4町)の計26箇所の遺跡及び遺跡推定地で実施した。分布調査は2事業(1町1村)で実施した。これらの調査は、平成29年4月中旬から12月上旬の期間で行った。試掘・確認調査の結果、計7箇所で保存をする範囲が確定した。

なお、保存をする範囲が確定した埋蔵文化財包蔵地のうち、中室内遺跡については本年度に発掘調査を実施し、一部記録保存を終えている。荒屋敷遺跡、DT-B33[荒屋敷遺跡]、ON-YT・B1、CG-B13、宮平遺跡は、来年度以降に本発掘調査が行われる予定である。

以下、各事業の平成29年度の試掘・確認調査成果を表16～表21にまとめたが、各表・本文中に提示した調査対象面積、保存面積、未試掘面積などは、今後の工事計画の変更により、変動する可能性がある。

1 一般国道115号相馬福島道路建設予定地

相馬市から伊達市を経由し、桑折町に至る高規格幹線道路である相馬福島道路は、これまで相馬西道路、阿武隈東道路、阿武隈東～阿武隈、靈山道路、靈山～福島の5区間に分かれて事業が進められてきた。このうち、相馬西道路、阿武隈東道路、阿武隈東～阿武隈、靈山道路では、試掘・確認調査及び本発掘調査はすべて終了している。

平成29年度の本事業における試掘・確認調査は、靈山～福島の12箇所で実施した。

[伊達市] 同市地内の靈山～福島に係る試掘・確認調査は、計19箇所の遺跡及び遺跡推定地を対象として、平成26年度から実施し、7箇所について終了している(『福島県内遺跡分布調査報告22・23・24』)。平成29年度は、DT-B24、DT-B27、大上山遺跡、DT-B36、DT-B35、DT-B29、中室内遺跡、DT-B32、荒屋敷遺跡、DT-B33[荒屋敷遺跡]の10箇所で実施した。その結果、保存をする範囲が確定したのは、DT-B29(1300m²)、中室内遺跡(4,500m²)、荒屋敷遺跡(3,000m²)、DT-B33[荒屋敷遺跡](2,800m²)の4箇所であり、保存面積の合計は、11,600m²である。

また、試掘調査は行わなかったが、DT-B31は周辺成果から未試掘部分を除外と判断したため、本年度でDT-B24、DT-B27、大上山遺跡、DT-B36、DT-B35、DT-B31、DT-B33[荒屋敷遺跡]の試掘・確認調査を終了した。

以上により、伊達市地内の靈山～福島で平成29年度以降、試掘・確認調査の対象となる遺跡及び遺跡推定地は、計5箇所で、試掘・確認調査が必要な未試掘面積の合計は18,700m²である。

[桑折町] 同町地内の靈山～福島に係る試掘・確認調査は、計5箇所の遺跡及び遺跡推定地を対象として、平成27年度から実施し、3箇所について終了している(『福島県内遺跡分布調査報告23・24』)。平成29年度は、QR-B2[川原田遺跡]、QR-B4[館ノ前遺跡]の2箇所で実施した。その結果、保存対象箇所は確認できなかった。また、本年度でQR-B2[川原田遺跡]、QR-B4[館ノ前遺跡]の試掘・確認調査を終了した。

以上により、同町地内の靈山～福島に係る試掘・確認調査はすべて終了した。

表16 相馬福島道路（靈山～福島）関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（伊達市・桑折町）

No.	遺跡名	試掘調査 終了 継続 未	道路工区内 面積(m ²)	年度別調査対象面積		未試掘 面積(m ²)	保存 面積(m ²)	備考
				年度	面積(m ²)			
【伊達市】								
1	DT-B 23	●	400	H 28	400	『県内分24』	0	0
2	上ノ台館跡	●	27,900	H 27 (測量)	14,200	『県内分23』	11,900	H 27 保存 3,700m ² の内、400m ² は DT-B 34 [上ノ台] に含める
				H 27	9,400	『県内分23』	3,700	H 28 (8,700m ²)、H 29 (1,500m ²) 本発掘調査実施。
				H 28	4,300	『県内分24』	300	
3	DT-B 34 [上ノ台]	●	2,300	H 27	1,900	『県内分23』	0	H 27 保存 600m ² の内、100m ² は上ノ台館跡に加え、残る 500m ² は上ノ台遺跡として新規登録。これに上記 400m ² を加え、保存 900m ² とする H 27 (900m ²) 本発掘調査実施。
				H 28	400	『県内分24』	600	
							0	
4	DT-B 24	●	5,600	H 29	5,600	(7 頁)	0	0
5	DT-B 25	●	8,900	H 28	8,900	『県内分24』	0	0
6	DT-B 26	●	18,500	H 27	18,500	『県内分23』	0	0
7	DT-B 35	●	2,500	H 27	1,400	『県内分23』	0	0
				H 29	1,100	(9 頁)	0	
8	DT-B 36	●	10,700	H 29	10,700	(9 頁)	0	0
9	DT-B 27	●	4,500	H 29	4,500	(8 頁)	0	0
10	大上山	●	5,600	H 29	5,600	(9 頁)	0	0
11	DT-B 28	●	14,200	H 26	6,000	『県内分22』	0	0
				H 27	7,900	『県内分23』	0	
12	DT-B 29	●	23,200	H 28	3,900	『県内分24』 (11 頁)	5,450	H 29 田向遺跡として新規登録
				H 29	10,300		1300	
13	中室内	●	15,200	H 28	4,800	『県内分24』 (12 頁)	1,250	H 29 (2,700m ²) 本発掘調査実施
14	DT-B 30	●	26,000	H 28	24,000	『県内分24』	0	0
15	DT-B 31	●	8,400	H 28	6,000	『県内分24』	0	0
16	宮本	●	16,100	H 28	7,200	『県内分24』	6,400	0
17	DT-B 32	●	7,100	H 29	1,800	(14 頁)	5,300	0
18	荒屋敷	●	10,700	H 29	10,400	(15 頁)	300	3000
19	DT-B 33 [荒屋敷]	●	11,600	H 28	6,700	『県内分24』 (17 頁)	0	H 28 荒屋敷遺跡に含める
				H 29	2,900		2,400 2,800	
伊達市 計			14 5 0	219,400	終了	187,900	18,700	30,500
						H 29 62,000		11,600 保存 30,500m ² の内、13,800m ² 本発掘調査実施
【桑折町】								
1	桑折台	●	750	H 28	700	『県内分24』	0	0
2	QR-B 1 [新宿]	●	2,100	H 28	1,550	『県内分24』	0	H 28 新宿遺跡として新規登録 H 28 工区変更により、1,850m ² 本発掘調査実施
3	QR-B 2 [川原田]	●	18,500	H 27	14,600	『県内分23』 (18 頁)	0	H 27 川原田遺跡として新規登録 H 28 (3,700m ²) 本発掘調査実施
4	QR-B 3 [日照田]	●	20,500	H 27	10,800	『県内分23』 (18 頁)	0	H 28 日照田遺跡として新規登録 H 29 (2,800m ²) 本発掘調査実施
5	QR-B 4 [籠ノ前]	●	20,300	H 27	3,700	『県内分23』 (20 頁)	0	H 28 篠ノ前遺跡として新規登録 H 29 (1,600m ²) 本発掘調査実施
				H 28	6,200	『県内分24』	3,600	
				H 29	6,000		0	保存 12,800m ² の内、9,950m ² 本発掘調査実施
桑折町 計			5 0 0	62,150	終了	55,950	0	12,800
						H 29 9,600		0
伊達市・桑折町 合計			19 5 0	281,550	終了	243,850	18,700	43,300
						H 29 71,600		11,600

〔表16～21用例〕『県内分＊』→『福島県内道路分布調査報告書＊』、(＊頁)→本報告書掲載ページ、終→終了、継→調査継続中、未→未着手。

※ 試掘対象面積・未試掘面積などは、工事計画などにより変更される場合がある。

2 県道吉間田滝根線（広瀬工区）建設予定地

県道吉間田滝根線（広瀬工区）の試掘・確認調査は、2工区（延長2km）の3箇所の遺跡推定地を対象に、本年度から開始した。

[小野町] 同町地内の県道吉間田滝根線に係る試掘調査は、ON-YT・B1、ON-YT・B2、ON-YT・B3の計3箇所の遺跡推定地で実施した。その結果、保存を要する範囲が確定したのは、ON-YT・B1の1箇所で、保存面積の合計は、1,700m²である。また、本年度でON-YT・B1、ON-YT・B2、ON-YT・B3の試掘調査を終了した。

以上により、小野町地内の県道吉間田滝根線（広瀬工区）に係る試掘・確認調査はすべて終了した。

表17 県道吉間田滝根線（広瀬工区）関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（小野町）

No.	遺跡名	試掘調査		道路工区内		年度別調査対象面積		未試掘面積(m ²)	保存面積(m ²)	備考
		終	廻	未	面積(m ²)	年度	面積(m ²)			
1	ON-YT・B1	●			2,400	H29	2,400	(21頁)	0	1,700
2	ON-YT・B2	●			900	H29	900	(22頁)	0	-
3	ON-YT・B3	●			5,300	H29	5,300	(23頁)	0	0
小野町 計		3	0	0	8,600	終了	8,600		0	1,700
						H29	8,600			1,700

3 主要地方道いわき上三坂線（小名浜道路）建設予定地

主要地方道いわき上三坂小野線（小名浜道路）は、いわき市小名浜湾と常磐自動車道を結ぶ全長8.3kmの自動車専用道路である。本事業に係る分布調査は平成25年度に実施し、周知の遺跡3箇所と新規の遺跡推定地13か所を確認した（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。試掘・確認調査は、平成27年度に江畠館跡の1箇所で実施したが、保存を要する範囲はなかった（『福島県内遺跡分布調査報告23』）。

[いわき市] 同市地内の小名浜道路に係る試掘・確認調査は、江畠町堀ノ内館跡、IWK-B10の2箇所で実施した。その結果、保存を要する箇所はなかった。また、本年度で江畠町堀ノ内館跡、IWK-B

表18 主要地方道いわき上三坂線（小名浜道路）関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（いわき市）

No.	遺跡名	試掘調査		道路工区内		年度別調査対象面積		未試掘面積(m ²)	保存面積(m ²)	備考
		終	廻	未	面積(m ²)	年度	面積(m ²)			
1	皇大平	●			2,700	-	-	2,700	-	
2	IWK-B1	●			5,300	-	-	5,300	-	
3	IWK-B2	●			600	-	-	600	-	
4	IWK-B3	●			1,000	-	-	1,000	-	
5	IWK-B4	●			1,500	-	-	1,500	-	
6	IWK-B5	●			2,000	-	-	2,000	-	
7	IWK-B6	●			1,100	-	-	1,100	-	
8	江畠町堀ノ内館跡	●			10,100	H29	10,100	(25頁)	0	0 H29工事計画の変更により、工区内面積増加
9	江畠船跡	●			10,000	H27	10,000	『県内分24』	0	0
10	IWK-B10	●			2,600	H29	2,600	(25頁)	0	0 H29工事計画の変更により、工区内面積増加
11	IWK-B11	●			400	-	-	400	-	
12	IWK-B13	●			7,900	-	-	7,900	-	
いわき市 計		3	0	9	45,200	終了	22,700		22,500	0
						H29	12,700			0

10の試掘・確認調査を終了した。

以上により、いわき市地内の小名浜道路で平成29年度以降、試掘・確認調査の対象となる遺跡及び遺跡推定地は、計9箇所で、試掘・確認調査が必要な未試掘面積の合計は22,500m²である。

4 阿武隈川上流河川改修事業（御代田地区）建設予定地

阿武隈川上流河川改修事業（御代田地区）は、郡山市御代田地区に整備される全長1.5kmの堤防である。本事業に係る遺跡及び遺跡推定地は、周知の遺跡1箇所である。試掘・確認調査は、本年度より開始した。
【郡 山 市】 同市地内の阿武隈川上流河川改修事業（御代田地区）に係る試掘・確認調査は、徳定A・B遺跡の一部工区内を対象に実施した。その結果、保存を要する範囲はなかった。

以上により、郡山市地内の阿武隈川上流河川改修事業（御代田地区）で平成29年度以降、試掘・確認調査の対象となる遺跡は、計1箇所で、試掘・確認調査が必要な未試掘面積の合計は9,400m²である。

表19 阿武隈川上流河川改修事業（御代田地区）関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（郡山市）

No.	遺跡名	試掘調査		道路工区内		年度別調査対象面積			未試掘面積(m ²)	保存面積(m ²)	備考
		終了	未	面積(m ²)	年度	面積(m ²)	報告書				
1	徳定A・B	●		14,300	H29	4,900	(27頁)	9,400	0		
	郡山市 計	0	1	0	14,300	終了	4,900		9,400	0	
					H29	4,900				0	

5 地域高規格道路（会津継貫南道路）建設予定地

会津若松市から下郷町を経由し、南会津町に至る地域高規格道路として計画されている会津継貫南道路は、これまで若松西バイパス、小沼崎バイパス、湯野上バイパス、下郷田島バイパスの4区間に分かれて事業が進められてきた。

このうち、下郷町地内の小沼崎・湯野上バイパスについては、平成18・19年度に分布調査を実施し、平成24・26・27年度には3箇所で試掘・確認調査を行っている。

【下 郷 町】 同町地内の小沼崎・湯野上バイパスに係る試掘・確認調査は、CG-B13、CG-B11、辻道下遺跡、辻道遺跡、CG-B9の5箇所で実施した。その結果、保存を要する範囲(1,050m²)が確定

表20 地域高規格道路（会津継貫南道路）関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（下郷町）

No.	遺跡名	試掘調査		道路工区内		年度別調査対象面積			未試掘面積(m ²)	保存面積(m ²)	備考
		終了	未	面積(m ²)	年度	面積(m ²)	報告書				
1	CG-B13	●		12,000	H26	600	『県内分22』		0	0	H29下居平乙遺跡として新規登録
					H27	2,800	『県内分23』		150	150	H29保存(1,050m ²)はH27未確定の一部を含む
					H29	8,600	(29頁)		1,050		
2	瀧ノ入	●		7,200	H27	5,600	『県内分23』	0	4,000		
3	栗林	●		10,200	H24	8,200	『県内分20』	1,850	5,000	H27(1,600m ²)本発掘調査実施	
4	CG-B11	●		7,000	H27	4,700	『県内分23』	0	0		
					H29	2,000	(32頁)				
5	辻道下	●		3,700	H27	700	『県内分23』	0	0		
					H29	2,900	(32頁)				
6	辻道	●		900	H29	2,300	(33頁)	0	0	同一地形の工区外(1,400m ²)を含め確認調査	
7	CG-B9	●		5,100	H29	5,100	(34頁)	0	0		
8	CG-B10	●		10,800	-	-	-	10,800	-		
	下郷町 計	6	1	56,900	終了	43,500		12,650	10,200		保存9,150m ² のうち、1,600m ² 本発掘調査実施
					H29	20,900			1,050		

したのは、C G - B 13 の 1箇所である。また、本年度で C G - B 13、C G - B 11、辻道下遺跡、辻道遺跡、C G - B 9 の試掘・確認調査を終了した。以上により、平成 29 年度以降、試掘・確認調査が必要になるのは計 2 箇所で、試掘・確認調査が必要な面積は 12,650m²である。

6 国道349号改良工事（下関工区）建設予定地

矢祭町大塙地区から塙町に至る区間で計画されている国道 349 号改良工事は、平成 24 年度から矢祭町教育委員会が埋蔵文化財に関する調査を進めてきたが、本年度から福島県教育委員会が下関工区に係る試掘・確認調査を開始した。

対象となるのは、矢祭町における遺跡 4 箇所である。

[矢祭町] 本年度の国道 349 号改良工事にかかる試掘・確認調査は、宮平遺跡、下町遺跡、田中前遺跡の 3 箇所で実施した。その結果、宮平遺跡では平成 28 年度の矢祭町教育委員会による調査成果と併せ、保存面積（2,300m²）が確定した。

また、本年度で田中前遺跡の確認調査は終了した。

以上により、矢祭町地内の国道 349 号改良工事（下関工区）で平成 29 年度以降、試掘・確認調査の対象となる遺跡は、計 3 箇所で、試掘・確認調査が必要な未試掘面積は 7,700m²である。

表21 国道349号改良工事（下関地区）関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（矢祭町）

No.	遺跡名	試掘調査 終了 未 終了	遺跡工区内 面積(m ²)	年度別調査対象面積		未試掘 面積(m ²)	保存 面積(m ²)	備考
				年度	面積(m ²)			
1	宮平	●	3,500	H 29	2,400 (34 頁)	1,100	2,300	保存(2,300m ²)は、H 28 矢祭町調査成果を含む
2	下町	●	5,900	H 29	2,300 (36 頁)	3,600	0	
3	下古宿	●	3,000	—	—	3,000	—	
4	田中前	●	3,600	H 29	3,600 (36 頁)	0	0	
矢祭町 計		1 2 1	16,000 終了	8,300		7,700	2,300	
				H 29	8,300		2,300	保存 2,300m ² のうち、0m ² 未発掘調査実施

7 埋蔵文化財包蔵地の登録と変更

本報告における分布調査及び試掘・確認調査の結果、3 件の埋蔵文化財包蔵地を新規に登録した。今後は以下の内容に基づいて埋蔵文化財の保護を行う。

[伊達市]

田向遺跡（伊達市保原町上保原字田向）

相馬福島道路建設予定地内で、遺跡推定地 D T - B 29 の試掘調査を実施したところ、中近世のものとみられる柱穴や溝跡など、埋蔵文化財の存在を確認したため、同一地形を呈し、その拡がりが予想される範囲を含めて埋蔵文化財包蔵地として新規に登録した。

登録面積は 1,300m²である。

[小野町]

八反田遺跡（小野町大字小野新町字八反田）

県道吉間田滝根線建設予定地内で、遺跡推定地 O N - Y T - B 1 の試掘調査を実施したところ、弥生時代の溝跡や古墳時代の堅穴住居跡など、埋蔵文化財の存在を確認したため、同一地形を呈し、その拡がりが予想される範囲を含めて埋蔵文化財包蔵地として新規に登録した。



図43 田向遺跡の範囲

登録面積は 1,700m²である。

[下郷町]

下居平乙遺跡(下郷町高陣字下居平乙)

会津総貫南道路建設予定地内で、CG-B 13の試掘調査を実施したところ、縄文時代の土坑、竪穴状造構など、埋蔵文化財の存在を確認したため、同一地形を呈し、その拡がりが予想される範囲を含めて埋蔵文化財包蔵地として新規に登録した。

登録面積は 1,200m²である。

表22 埋蔵文化財包蔵地（新規・変更）一覧

市町村・遺跡 コード	遺跡名	所在地	登録概要	種別	時代	面積	備考
07213 00661	田向遺跡	伊達市保原町上保原字田向	新規登録	散布地	中古世	1,300m ²	DT-B29 の一部を田向遺跡として登録
05522 00147	八反田遺跡	小衍町大字小野町字八反田	新規登録	散布地	先史・古墳・中古世	1,700m ²	OB-VI-II の一部を八反田遺跡として登録
07362 00149	下居平乙遺跡	下郷町高陣字下居平乙	新規登録	散布地	縄文	1,200m ²	CG-B13 の一部を下居平乙遺跡として登録



図44 八反田遺跡の範囲



図45 下居平乙遺跡の範囲

報告書抄録

ふりがな	ふくしまけんないせきぶんぶちょうさほうこく25
書名	福島県内遺跡分布調査報告書25
シリーズ名	福島県文化財調査報告書
シリーズ番号	第529集
編著者名	福島県教育庁文化財課(編集) : 小野忠大 公益財団法人福島県文化振興財団 : 佐々木慎一 菅原祥夫 近藤宏幸
編集機関	福島県教育委員会 〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16 TEL 024-521-1111
発行機関	福島県教育委員会 〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16 TEL 024-521-1111
発行年月日	2018年9月28日

ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯 ^{*1}	東經 ^{*1}	発掘期間	発掘面積 ^{*2} m ²	発掘原因	
D T - B 24	福島県伊達市保原町大原	07213	なし	37° 47' 23"	140° 33' 26"	20170830 ~ 20170905	168.0	試掘調査
D T - B 27	福島県伊達市保原町大原	07213	なし	37° 47' 47"	140° 32' 48"	20170906 ~ 20170911	94.5	試掘調査
大土山	福島県伊達市保原町大原	07213	00377	37° 47' 49"	140° 32' 46"	20170912 ~ 20170913	121.0	確認調査
D T - B 36	福島県伊達市保原町大原	07213	なし	37° 47' 37"	140° 32' 48"	20170914 ~ 20170921	354.0	試掘調査
D T - B 35	福島県伊達市保原町大原	07213	なし	37° 47' 45"	140° 32' 52"	20170922 ~ 20170927	21.0	試掘調査
D T - B 29	福島県伊達市保原町上保原	07213	なし	37° 48' 45"	140° 32' 7"	20171125 ~ 20171130	432.0	試掘調査
中室内	福島県伊達市保原町上保原	07213	00329	37° 48' 51"	140° 32' 0"	20170601 ~ 20170607	358.0	確認調査
D T - B 32	福島県伊達市保原町大原	07213	なし	37° 49' 29"	140° 32' 16"	20170925 ~ 20170928	60.0	試掘調査
鬼城	福島県伊達市保原町大原	07213	00332	37° 49' 26"	140° 31' 12"	20170709 ~ 20170720	424.0	確認調査
D T - B 33 (荒城城)	福島県伊達市保原町大原	07213	00032	37° 49' 31"	140° 31' 4"	20170704 ~ 20170705	127.0	試掘調査
Q R - B 2 (川原田)	福島県伊達市川原田町	07301	なし	37° 49' 49"	140° 30' 24"	20170410 ~ 20171412	15.5	確認調査
Q R - B 4 (船ノ前)	福島県伊達市川原田町松原	07301	00106	37° 49' 58"	140° 29' 20"	20171204 ~ 20171206	183.5	試掘調査
ON - YT - B1	福島県伊達市都喜田村大字小野新 町字八反田	07522	なし	37° 17' 47"	140° 37' 15"	20170703 ~ 20170707	215.5	試掘調査
ON - YT - B2	福島県伊達市都喜田村大字小野新 町字八反田	07522	なし	37° 17' 47"	140° 37' 35"	2017071004	72.0	試掘調査
ON - YT - B3	福島県伊達市都喜田村大字小野新 町字大久保	07522	なし	37° 17' 43"	140° 37' 53"	20170711 ~ 20170726	435.0	試掘調査
江内町原ノ内能 基	福島県伊達市江内町原 江内町原ノ内能基	07204	01284	36° 56' 24"	140° 47' 37"	20170801 ~ 20170807	84.5	確認調査
I WK - B 10	福島県伊達市江内町原 江内町原ノ内能基	07204	なし	36° 56' 62"	140° 47' 16"	20170807 ~ 20170810	40.5	試掘調査
鑑定A - B	福島県伊達市田村町	07203	00662	37° 21' 23"	140° 21' 25"	20170823 ~ 20170831	78.0	確認調査
C G - B 13	福島県伊達市津浦下郷町高瀬	07362	なし	37° 18' 28"	139° 54' 23"	20171016 ~ 20171018	193.5	試掘調査
C G - B 11	福島県伊達市津浦下郷町高瀬	07362	なし	37° 15' 38"	139° 53' 11"	20170711 ~ 20170726	57.0	試掘調査
注通下	福島県伊達市津浦下郷町中妻	07362	00029	37° 15' 37"	139° 53' 3"	20170711 ~ 20170726	49.5	確認調査
注通	福島県伊達市津浦下郷町中妻	07362	00092	37° 15' 34"	139° 53' 5"	20170711 ~ 20170726	63.0	確認調査
C G - B 9	福島県伊達市津浦下郷町中妻	07362	なし	37° 15' 28"	139° 52' 53"	20171030 ~ 20171102	177.0	試掘調査

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ^{*1}	東経 ^{*1}	発掘期間	発掘面積 ^{*2} m ²	発掘原因
		市町村	道路番号					
管下車	福島県東白川郡矢祭町大字下関 河内	07482	00058	36° 50' 24"	140° 26' 15"	20171112	39.0	確認調査
下町	福島県東白川郡矢祭町大字下関 河内	07482	00057	36° 50' 24"	140° 26' 18"	20171116	69.0	確認調査
田中前	福島県東白川郡矢祭町大字下関 河内	07482	00056	36° 50' 15"	140° 26' 47"	20171107 ~ 20171115	127.5	確認調査

特記 事項	相馬福島道路建設予定地内(伊達市)のD T - B 29で試掘調査を実施したところ、中近世のものとみられる遺構を確認したため。田向道路として新規登録した。同予定地内(伊達市)の荒原敷道路の確認調査でも、弥生時代・古墳時代・平安時代の遺構・遺物を確認したため。建設予定地内の3,000m ² を保存を要する範囲とした。また、同予定地内(伊達市)のD T - B 33[荒原敷道路]の試掘調査では、弥生時代・古墳時代の遺構・遺物を確認したため、2,800m ² を保存を要する範囲とした。
	県道古賀田浦根線(小野町)のO N - Y T - B 1の試掘調査では、縄文時代の遺構・遺物を確認したため。下居平乙道路として新規登録した。
要項	会津縱貫南北道路建設予定地内(下郷町)のC G - B 13の試掘調査では、縄文時代の遺構・遺物を確認したため。下居平乙道路として新規登録した。
	国道349号改良工事(矢祭町)建設予定地の宮平道路の確認調査では、縄文時代の遺構・遺物を確認したため。建設予定地内の2,300m ² を保存を要する範囲とした。

*1 經緯度位置は世界地図系(平成14年4月1日から通用)による。 *2 ドレンチ面積を示す。

福島県文化財調査報告書第529集

福島県内遺跡分布調査報告 25

平成30年9月28日発行

編集・発行 福島県教育委員会

■960-8688 福島市杉妻町2-16

印 刷 株式会社山川印刷所

■960-2153 福島市庄野字清水尻1-10